# 令和３年度

# 学生のための

# 履 修 手 引 き

令和３年４月

琉球大学グローバル教育支援機構

# 目　次

Ⅰ　大学の教育課程 …… 2
1．学士課程教育プログラムによる
4(6)年一貫教育 …… 2
2．共通教育等の特徴とその構成 …… 7
3．単位制 …… 9
4．履修計画 …… 9
5．各学部学科等別共通教育等
履修基準表 …… 12
6．履修登録手続き …… 21
7．各学部登録上限単位数 …… 25
8．クォーター科目 …… 27
9．期末試験 …… 28
10．履修中止（ウィズドロー）制度 …… 28
11．GPA制度 …… 29
12．成績評価不服申立制度 …… 30
Ⅱ　令和３年度学年暦 …… 31

Ⅲ　「履修登録」「履修中止」「成績評価不服申立」
などの１年間の流れ …… 32

Ⅳ　学生便覧・授業時間配当表の閲覧，
教務情報システムを利用した
授業科目の登録・取消し，成績確認，
アンケートへの回答方法など …… 34
1．学生便覧・授業時間配当表の見方 …… 34
2．教務情報システムの説明 …… 35
3．授業科目の登録・取消しの方法 …… 36
4．成績の確認方法 …… 40
5．アンケートへの回答 …… 41
6．その他住所変更等の入力 …… 42

Ⅴ　副専攻 …… 43

Ⅵ　学習サポート …… 44

Ⅶ　休学・退学等の手続き …… 45
1．休学 …… 45
2．復学 …… 45
3．転学部・転学科等 …… 45
4．退学 …… 46
5．除籍 …… 46
6．再入学 …… 47
7．手続き様式の入手方法 …… 47

Ⅷ　台風時等の授業の取扱い …… 48

本冊子は，教務情報ページ http://rais.skr.u-ryukyu.ac.jp/dc/ に掲載されています。

# I 大学の教育課程

大学設置基準第19条第2項に「教育課程の編成に当たっては，大学は，学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに，幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い，豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮しなければならない。」と規定されています。この規程に基づいて，大学は教育課程を編成しています。

本学の教育課程は，共通教育科目，専門基礎科目及び専門科目から成り立っています。これらの各授業科目の有機的連携を図るため，1年次から専門科目が履修できるようにするとともに3年次以上であっても共通教育等科目が履修できるよう4年（6年）一貫教育に基づく教育課程を編成しています。

学生は，専門知識を修得するとともに常に広い視野に立ってあらゆる事象に対する科学的な学究態度，豊かな人間観を築いてください。

## 1．学士課程教育プログラムによる４（６）年一貫教育

本学では，平成24年度からURGCC（琉大グローバルシティズン・カリキュラム：University of the Ryukyus Global Citizen Curriculum）を実施しています。URGCCとは，21世紀型市民を養成するために琉球大学が平成24年度から導入した取組です。他の国立大学とは異なった歴史を持つ本学では、沖縄をはじめ県外の学生、アジアを中心とした外国より留学生が集うなど多様な人材が集まる場所となっています。世界へ拓かれ、沖縄と世界の「津(しん)梁(りょう)（架け橋）」となる人材を輩出できるよう学士としての質を保証するためのカリキュラムがURGCCです。

皆さんは琉球大学で学生生活を送るにあたって、本学が用意する32の学士教育プログラムのうちいずれかに所属することになります。図1は、URGCCと各学士教育プログラムの関係を示していますが、この図から分かるように、URGCCの理念は皆さんがどのプログラムに所属していても共通に関わってくるものなのです。

それではURGCCとは、具体的にどのようなことを行う取組なのでしょうか？URGCCでは、琉球大学の学生が達成すべき学習教育目標として、「自律性」、「社会性」、「地域・国際性」、「コミュニケーション・スキル」、「情報リテラシー」、「問題解決力」、「専門性」の7つを定めています。表1には、その具体的な内容を示しています。新入生の皆さんは、これら7つの目標を卒業時までに達成できるように取り組んでいくことになります。

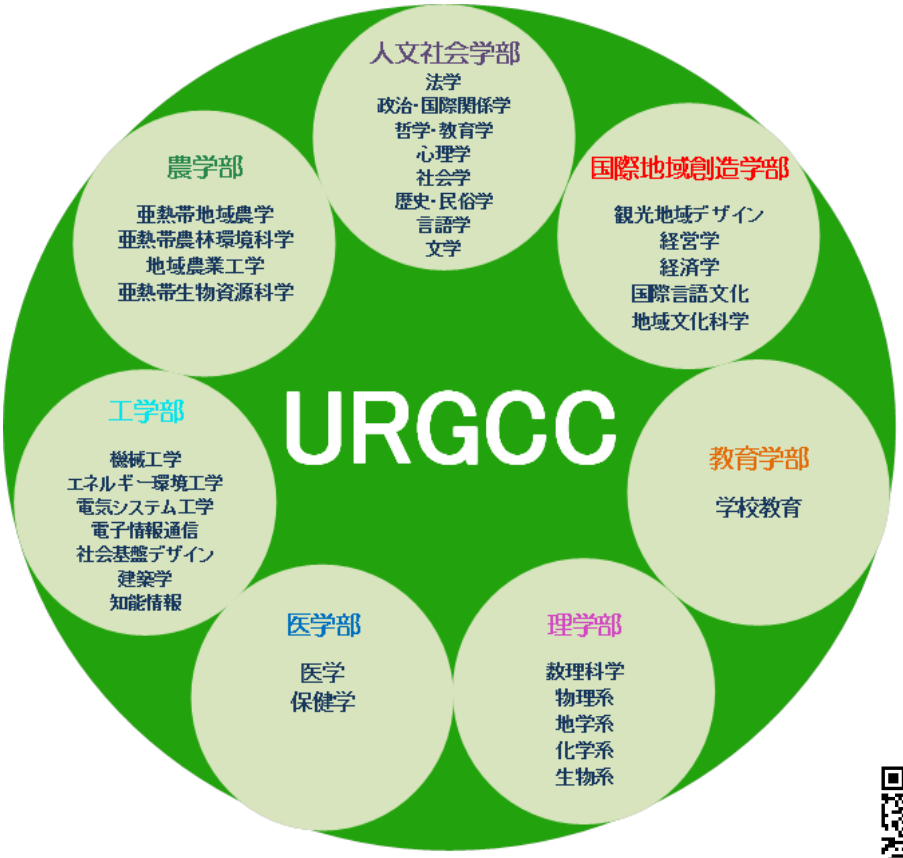



**図１　ＵＲＧＣＣと32の学士教育プログラムの関連イメージ図**

（※各学士教育プログラムの詳細については、下記のURLに掲載しておりますのでご確認ください。）

http://www.ged.skr.u-ryukyu.ac.jp/divisions/division-2/kaihatusitu/gakushi_committee/deliverables

上記のURL（またはQRコード）から、「URGCC琉球大学学士教育プログラム」を開いて、皆さんが所属する学士教育プログラムのページをご覧ください。そこには、卒業までの4（6）年間をかけて歩む道のりをイメージできるように、卒業時に授与される学位の種類をはじめ、学部・学科等に共通の教育目標、プログラムの学習目標、学習の内容・方法、学習教育目標の達成に向けた具体的な取組、そして卒業後の進路について分かりやすく書かれています。

**表１　７つのＵＲＧＣＣ学習教育目標**

| | |
|---|---|
| 自律性 | 自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。 |
| 社会性 | 市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身に付け、多様な人々と協調・協働して行動できる。 |
| 地域・国際性 | 地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。 |
| コミュニケーション・スキル | 言語とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。 |
| 情報リテラシー | 幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。 |
| 問題解決力 | 批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。 |
| 専門性 | 専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、活用することができる。 |

ところで、皆さんの中には、URGCC学習教育目標とそれぞれの学士教育プログラムの学習教育目標が同じ言葉で表現されていないことに気づいた方がいるかもしれません。これは全部で32ある学士教育プログラムの内容が多彩であり、一つの言葉で全ての学習教育目標を表現することが難しいためです。しかし、たとえ言葉は違っていてもURGCC学習教育目標と各学士教育プログラムの学習教育目標は、基本的に同じ方向を目指していると言えます。表2はこのことを例示したものです。

この表のように、URGCCでは、URGCCと各学士教育プログラムの各学習教育目標の対応関係を設定することで、大学教育全体のバランスをとるようにしているのです。

さて、これから皆さんは所属する学士教育プログラムにおいて、それぞれに掲げられている学習教育目標の達成に向けて4(6)年一貫教育(共通教育等・専門教育)を受けていきます(図2参照)。そして、皆さんが卒業するまでにその学習教育目標を達成することで、「学士学位」が授与されることになります。この時、URGCC学習教育目標も同じく達成できたことになるのです。

表２　各学習教育目標の対応関係の一例

| | | □□学士教育プログラムの学習教育目標(例) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 目標A | 目標B | 目標C | 目標D |
| URGCC学習教育目標 | 自律性 | ○ | | | |
| | 社会性 | | ○ | | |
| | 地域・国際性 | | | ○ | |
| | コミュニケーション・スキル | | ○ | | |
| | 情報リテラシー | | | | ○ |
| | 問題解決力 | | | | ○ |
| | 専門性 | | | | ○ |

※表中の○は各学習教育目標の対応箇所を示しています。

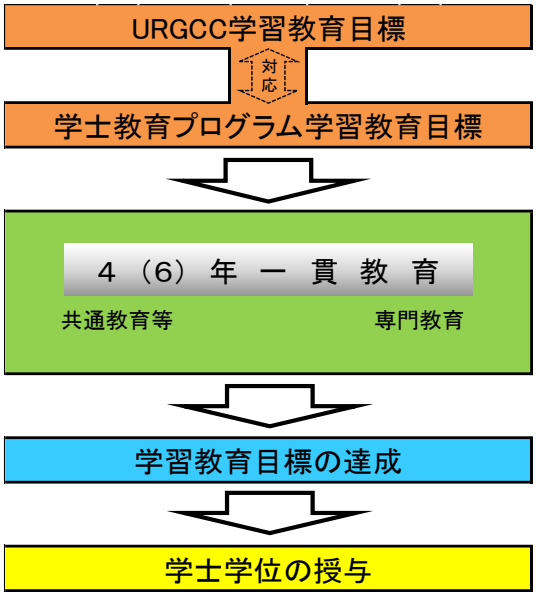



図２　学士学位授与までの流れ

新入生の皆さんは、学生生活を送る中で日頃からこれらの学習教育目標を意識し、その意味を十分に理解するよう心掛けてください。そして、卒業するまでに自分がどのような能力を身に付けるべきか、あるいはどのような進路を歩むべきか等について主体的に目標を定め、その目標の達成に向けて大いに励んでください。皆さんの学生生活が充実したものとなることを心より願っています。

## 「URGCC」って何？

琉球大学の教育理念である、専門性を有し、幅広い教養を身に付け、新しい時代において自ら問題を見出し、多様な人々と協調・協働しながら地域社会や国際社会を積極的に支え、改善していく人材の育成を実現するために、全学が共通に、４（６）年間の専門教育と共通教育等を体系的に構成して目標を達成する取り組みです。

## URGCCメタ・ルーブリック

・本ルーブリックは、学士課程で卒業までに身に付けるURGCCの目標に対する達成度を、学習成果として各レベルで示しています。

・本ルーブリックは、琉球大学の学士教育プログラムの教育内容及び方法等の改善を進めるため、また教育の質の保証と向上のために活用されます。

| レベル<br>レベルのめやす | | レベル４<br>特に優れている |
|---|---|---|
| 自律性 | 自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。 | ・大学で学ぶ意義を深く理解し、自分自身が掲げる明確な目標の達成に向けて主体的かつ自律的に学習・行動できる。<br>・生涯を通して学び続ける姿勢を持ち、心身の健康の維持を実践できる。 |
| 社会性 | 市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身に付け、多様な人々と協調・協働して行動できる。 | ・市民としての自覚を持って社会の規範やルールを理解した上で尊重し、倫理性を十分に身に付けることができる。<br>・多様な人々との違いを理解し、進んで協調・協働し、高いリーダーシップを発揮し目標実現のために行動することができる。 |
| 地域・国際性 | 地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。 | ・地域の歴史と自然、社会等と世界を結び付けて深く考察することができ、異文化への理解と寛容な姿勢を持つことができる。<br>・世界の平和及び人類と自然の共生に主体的に貢献でき、地域・国際社会の発展に秀でた働きかけができる。 |
| コミュニケーション・スキル | 言語とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。 | ・言語とシンボルを高度に使いこなしてコミュニケーションでき、他者の様々な立場を理解し尊重しながら、自分の考えや意思を明確に表現することができる。<br>・語彙、論理ともに的確で完成度の高いレポート・論文を作成することができる。 |
| 情報リテラシー | 幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。 | ・精度の高い情報や知識を多様なチャンネルから正確に、効率よく収集・分析し、客観的に判断することができる。<br>・信頼できる情報源を的確に取捨選択し、モラルに則って活用することができる。 |
| 問題解決力 | 批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。 | ・様々な視座から批判的・論理的に思考し、的確かつ主体的に問題を見いだすことができる。<br>・これまでに獲得した知識や経験等を総合して論理的に分析し、的確かつ主体的に問題解決でき、幅広い分野から得られる知見を発展的に活用できる。 |
| 専門性 | 専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、活用することができる。 | ・専攻する学問分野における高度な思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、応用的に活用することができる。 |

## 「URGCCメタ・ルーブリック」って何？

URGCCでは学生が達成するべき学習目標として「自律性」、「社会性」、「地域・国際性」、「コミュニケーション・スキル」、「情報リテラシー」、「問題化解決力」、「専門性」の７つを設定しています。URGCCメタ・ルーブリックは７つの目標を達成したときの成長ステップが示されています。

皆さん自身が理想の自分像を思い描いて現実に向き合い、考え、判断し、行動していくことが大切です。URGCCメタ・ルーブリックに示されている学習効果を総括的に確認することで、大学での学習や生活の改善に資する具体的な手がかりを与えてくれるはずです。

また、URGCCメタ・ルーブリックに示されている学生の成長の姿は、琉球大学がURGCCにしっかりと取り組み、教育の質を保証することを示すもので、琉球大学の教育を常に改善・向上させることを約束するものです。

| レベル３<br>優れている | レベル２<br>良好である | レベル１<br>基準に達している |
|---|---|---|
| ・大学で学ぶ意義を十分に理解し、自分自身が掲げる目標の達成に向けて主体的かつ自律的に学習・行動できる。<br>・生涯を通して学び続ける姿勢を持ち、心身の健康の維持に努めることができる。 | ・大学で学ぶ意義を理解し、自分自身が掲げる目標の達成に向けて自律的に学習・行動できる。<br>・生涯を通して学び続ける姿勢を持ち、心身の健康の維持に努めることができる。 | ・大学で学ぶ意義をある程度理解し、目標の達成に向けて自律的に学習・行動できる。<br>・生涯を通した学びを理解し、心身の健康の維持に配慮することができる。 |
| ・市民として社会の規範やルールを十分に理解し、倫理性を身に付けることができる。<br>・多様な人々と進んで協調・協働し、リーダーシップを発揮し目標実現のために行動することができる。 | ・市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身に付けることができる。<br>・リーダーシップを理解し、多様な人々と協調・協働し、目標実現のために行動することができる。 | ・基本的な社会の規範やルール、倫理性を理解することができる。<br>・他者と協調・協働し、目標実現のために立場に応じた行動ができる。 |
| ・地域の歴史と自然、社会等と世界を結び付けて考察することができ、異文化への理解と寛容な姿勢を持つことができる。<br>・世界の平和及び人類と自然の共生に進んで貢献することができる。また、地域・国際社会の発展に積極的に優れた働きかけができる。 | ・地域の歴史と自然、社会等と世界を結び付けて理解でき、異文化への理解と寛容な姿勢を持つことができる。<br>・世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。また、地域・国際社会の発展に積極的に関与することができる。 | ・地域と世界の関わりに目を向け、異文化を認識し、世界の平和及び人類と自然の共生について考えることができる。<br>・地域・国際社会の発展に関わる姿勢を示すことができる。 |
| ・言語とシンボルを使いこなしてコミュニケーションでき、他者の様々な立場を理解し、自分の考えや意思を明確に表現することができる。<br>・語彙、論理ともに適切で優れたレポート・論文を作成することができる。 | ・言語とシンボルを用いてコミュニケーションでき、他者の様々な立場を理解し、自分の考えや意思を明確に表現することができる。<br>・語彙、論理ともに適切な文書でレポート・論文を作成することができる。 | ・言語とシンボルの基本的な活用ができ、自分の考えや意思を表現することができる。<br>・語彙、論理ともに基本的なレベルでレポート・論文を作成することができる。 |
| ・情報や知識を多様なチャンネルから効率よく収集・分析し、客観的に判断することができる。<br>・信頼できる情報源を判断し、モラルに則って活用することができる。 | ・情報や知識を多様なチャンネルから収集・分析し、客観的に判断することができる。<br>・信頼できる情報源を判断し、モラルに則って活用することができる。 | ・情報や知識を多様なチャンネルからある程度収集・分析し、客観的に判断することができる。<br>・情報源の信頼性と、モラルに配慮し活用することができる。 |
| ・様々な視座から批判的・論理的に思考し、主体的に問題を見いだすことができる。<br>・これまでに獲得した知識や経験等を総合して論理的に分析し、主体的に問題解決でき、幅広い分野から得られる知見を活用できる。 | ・様々な視座から批判的・論理的に思考し、問題を見いだすことができる。<br>・これまでに獲得した知識や経験等を総合して論理的に分析し、問題解決でき、幅広い分野から得られる知見を活用できる。 | ・批判的・論理的な視点を持って問題を見いだすことができる。<br>・持てる知識や経験を踏まえて分析し、問題解決でき、他の分野の知見も参考に捉えることができる。 |
| ・専攻する学問分野における優れた思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、十分に活用することができる。 | ・専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、活用することができる。 | ・専攻する学問分野における基本的な思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、用いることができる。 |

## 2．共通教育等の特徴とその構成

本学の授業科目は，共通教育科目，専門基礎教育科目及び専門教育科目に区分されます。共通教育科目と専門基礎教育科目を合わせて共通教育等科目といいます。専門教育科目は，所属する学部・学科が提供する授業科目です。

共通教育等科目を履修する目的は，時代の変化に対応する能力や幅広く深い教養と総合的な判断力を培うことによって，提起される諸問題を積極的に解決していこうとする主体的な人間を形成することです。

### (1) 共通教育科目

- 共通教育等
  - 共通教育
    - 教養領域（人文系科目，社会系科目，自然系科目，健康運動系科目）
    - 総合領域（総合科目，琉大特色・地域創生科目，キャリア関係科目）
    - 基幹領域（情報関係科目，外国語科目）
  - 専門基礎教育 ― 専門基礎科目（先修科目，転換科目）

〈教養領域〉

教養領域では，学生が人文，社会，自然の3つの系内にある諸科学の内容や特有な課題に通じ，問題解決に必要な固有の知識や方法を身につけ，それらを現代的状況へ応用する能力を養うことを期待しています。また，多面的に問題を捉える態度や資質を向上させてください。

この領域の授業科目は，現代的な状況や問題，個々の学生の興味・態度に配慮したテーマや内容に基づいて設定されています。例えば，「人間と倫理」(倫理学)，「現代社会のしくみ」(社会学)，「数の文化」(数学)等です。健康運動系科目では，理論や実技を有機的に結合した授業科目や学生の興味・関心に応じた種目別の多様な実技科目を提供しています。

〈総合領域〉

この領域の科目群は，総合科目，琉大特色・地域創生科目，キャリア関係科目から成ります。

総合科目は，人文・社会・自然の3分野を横断する科目として設置しています。また，一方では，所属する学部・学科は異なりますが，隣接領域にある複数の教員が，それぞれのアプローチで，共同で担当しなければならないテーマを扱う授業科目が含まれています。

琉大特色・地域創生科目は，総合科目と同様のアプローチでありながら沖縄の地域の歴史・文化・自然環境等に焦点を当て，琉大の理念（「真理の探求」「地域・国際社会への貢献」「平和・共生の追求」）を具現化する科目であり，地域が抱える諸課題に関する理解を深め，地域の維持・発展に対して主体的かつ能動的に貢献できる人材を養成するための科目です。

キャリア関係科目は，在学中にキャリア形成に関する意識を啓発し，社会的・職業的自立に向けて，必要な基盤となる能力や態度を育てることを目的としています。初年次向けの「キャリア形成入門」から課題解決型の実践的な科目，高年次向けの「地域企業（自治体）お題解決プログラム」などの科目を提供しています。

〈基幹領域〉

どのような学問領域を専攻しようとも，その基礎や土台をなす知識や技能が必要不可欠です。このような能力を養うのが基幹科目です。したがって，この領域の科目は，学部・学科・課程や専攻の如何を問わず，すべての学生にその履修と習熟が期待されています。この領域は，外国語科目と情報関係科目（情報科学演習と日本語表現法入門）から成ります。

外国語は，「英語」「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「ラテン語」及び「ロシア語」，また，アジアの言語からは，「中国語」「朝鮮語」「タイ語」「ヴェトナム語」及び「インドネシア語（夜間主の時間帯にのみ開講）」が開講されています。英語科目では基礎的な学習を要する部分を終了した後に，文系，理系それぞれの学生にふさわしい教材を使用して，学生の学習意欲の向上と専門教育とのつながりを持たせるよう工夫されています。

情報関係科目は，あらゆる学問の基礎となる情報処理能力と日本語表現能力を訓練するために，専門科目を履修する前に受講して欲しい科目です。

(2) 専門基礎科目

専門基礎科目は，理系学生が理科教養を身につけるための基礎的科目で，「数学」「物理」「化学」「生物」「地学」の各講義と実験があります。これらの科目は，高校までの教育と，大学の理科系の専門教育を繋ぐ科目として，理系学部の状況に応じて履修する科目です。

この専門基礎科目は，先修科目と転換科目から成ります。

〈先修科目〉

先修科目は，理系の専門科目を履修するために必要な基礎を学ぶ科目です。学部・学科等の専門教育の内容によって，必修科目（又は選択必修科目）が設定され，学生が所属する学部・学科等によって優先的に履修登録できるクラスが指定されています。

「授業時間配当表」の指定学部・学科欄を確認して，履修登録を行ってください。

〈転換科目〉

転換科目は，高校と大学の橋渡しをよりスムーズに行う目的で開講され，高校で「数学」「物理」「化学」を履修していない学生のために，高校教育の内容から先修科目の内容まで講義する補完科目として位置づけられています。これらの分野では、高校での履修・未履修によって大学入学時の理解度がかなり違い、最初から先修科目を履修するのが困難な学生もいるため、この転換科目を開設しています。

転換科目は,「微分積分学入門Ⅰ・Ⅱ」「物理学入門Ⅰ・Ⅱ」「化学入門Ⅰ・Ⅱ」から成ります。これに対応する先修科目はそれぞれ「微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅰ・Ⅱ」「物理学Ⅰ・Ⅱ」「化学Ⅰ・Ⅱ」です。

転換科目は,先修科目の前に履修することが望ましいですが,学部・学科等によっては,これらの科目を履修した学生は,これに対応する先修科目を履修しなくてもよい場合があります。すなわち,高校で「数学」「物理」「化学」を未履修の学生は,転換科目の「微分積分学入門Ⅰ・Ⅱ」「物理学入門Ⅰ・Ⅱ」「化学入門Ⅰ・Ⅱ」を履修し,履修後は,先修科目の「微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅰ・Ⅱ」「物理Ⅰ・Ⅱ」「化学Ⅰ・Ⅱ」を履修したと同等に考え,次のステップに進む履修方法です。この履修方法だと,転換科目を履修しても先修科目と同一の期間に必要な単位を修得できる利点があります。

転換科目を履修する際には,必ず指導教員の履修指導を受けてください。

## 3. 単位制

単位とは,学生の学修の量を示す基準となるものであり,この単位数によって勉学の達成度が計算され,卒業の可否が決定されます。授業料目の単位は,学生が教室で講義を受ける時間と授業時間外に必要な学習時間等を考慮し計算しています。1単位の授業科目は,45時間の学習を必要とする内容をもって構成することが標準となっています。講義・演習の場合,「教室内での15時間の授業」+「教室外の学修(事前(予習)・事後(復習))30時間」=45時間で,自主的な学修30時間(2単位の場合は30時間×2単位=60時間)が求められます。

大学における勉学は,学生の積極的,自主的な学習不可欠の要素として重視されていることに十分留意してください。

## 4. 履修計画

履修計画とは,大学に入学してから卒業するまでに,いつ(何年次・何学期に),何を(どの科目を),どれだけ(何単位)履修するかを計画することです。

各学部は,学士教育プログラムごとに学生が大学の授業を通して卒業するまでに身に付けてほしい知識・技能をディプロマ・ポリシーで定めています。そして,ディプロマ・ポリシーで定めた知識・技能を獲得するために,卒業までの4(6)年間で何を(どの科目を),どれだけ(何単位)履修すべきかを定めているのが,所属する学部・学科等が定める卒業要件です。学生は,卒業要件で定められた科目・単位を修得することで,各学士教育プログラムが目標としている知識・技能を身に付けることができます。

共通教育及び専門基礎教育の履修すべき授業科目は,「各学部学科等別共通教育等履修基準」(☞12ページを参照)に定められています。また,専門教育の履修すべき授業科目は所属する学部・学科の各学部規程で規定されています。

卒業要件では，何を（どの科目を），どれだけ（何単位）履修すべきかが分かりますが，これらの科目を，いつ（何年次・何学期に）履修すべきか分かりません。例えば，１年次から専門性の高い科目を履修しても，授業内容について行けずに，必要な知識・技能を身に付けることはできません。まずは基礎科目を履修して，専門教育に必要な基礎的な力を付けてから次のステップに進む必要があるため，何をいつ履修すべきかを考えることも重要です。そこで，各学部・学科では，履修計画を立てる際に参考となる「履修モデル」を作成しています。

共通教育科目及び専門基礎科目，専門教育の授業科目に関する履修計画を立てる場合には，卒業要件と履修モデルを参考にして，必要な科目を適切な時期に履修できるようにしてください。その際，特に留意すべき事項は次のとおりです。

(1) 各学部学科等別共通教育等履修基準

①学生は，各学部・学科等が定める共通教育等履修基準表（☞12ページを参照）（教務情報ページhttp://rais.skr.u-ryukyu.ac.jp/dc/で公開）に基づいて必要な科目と単位を履修しなければなりません。「履修基準表」に明記されている授業科目は必ず履修するとともに，学科等が特に指定した領域（例えば「人文，社会及び総合領域から10単位」など）は必ずその領域から選択し，また学科等が履修することが望ましいと示した科目も履修するように努めてください。

②共通教育等の履修基準は，各学部・学科等の独自性を出しながら，科目数や単位数が設定されていますので，学生は，指導教員から詳細かつ十分な履修指導を受ける必要があります。健康運動系科目は，講義及び多様な実技を含んだ演習から成り，いずれも２単位となっています。また，外国語科目は，多くの学部・学科等で８単位以上の修得を基準としています。なお，「英語」「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」「朝鮮語」「インドネシア語（夜間主の時間帯にのみ開講）」,「タイ語」及び「ヴェトナム語」はそれぞれ８単位以上の履修が可能ですが，「ラテン語」や「ロシア語」は４単位までしか履修できませんので，初修外国語を８単位以上履修する場　合は注意が必要です。健康運動系科目や基幹領域の外国語科目，情報関係科目の履修方法についても，指導教員の履修指導に従ってください。

③本学での共通教育等科目は，基本的には学生の自主的な選択により履修することになっており，学部・学科等ごとに定めている卒業要件を満たすよう履修計画を立てて，時間割を各自で編成することになります。各学部・学科等が共通教育等科目の必修科目として定めた科目（主に英語科目，情報関係科目，専門基礎科目）については，学生が卒業に必要な科目を優先的に履修できるように指定クラスを設けて，「授業時間配当表」の指定学部学科欄に記載しています。自分の必修科目と指定クラスを確認して，計画的な履修登録を行ってください。

(2) 各学部で定める卒業要件

学生は，所属する学部・学科等の定める卒業要件に基づいて，必要な科目と単位を履修しなければなりません。学科・課程・専攻等によっては，１年次から専門科目を履修することもありますので，指導教員の指導を必ず受けてください。

(3) １個学期に登録できる単位数

１個学期に登録できる単位数は20単位ですが，20単位超過の条件も設定されていますので，その範囲は指導教員に確かめてください。（☞25ページを参照）

(4) 16単位未満による除籍

卒業に要する最終学年（卒業に必要でかつ十分な科目及び単位の登録を完了した者。46ページの「５．除籍」を参照。）を除き，１年間に最低16単位は必ず修得しなければなりません。16単位を修得できないときは，除籍となりますが，平成30年度から16単位修得未満であっても次年度に修学を継続する意思があって，「修学継続届」（様式の入手は☞34ページの④手続き様式を参照）を所定の期日までに当該学部長へ届けることにより，１回に限り除籍対象から除かれることとなりました。（☞46ページを参照）

(5) 教員免許状の取得

教員免許状を取得しようとする学生は，卒業要件以外に「教育職員免許法」（学生便覧参照）及び同法施行規則に基づく教科に関する科目及び教職に関する科目等を修得しなければなりません。

卒業要件と教員免許要件が一致している教育学部の学校教育教員養成課程以外の学生は，特にこの点を配慮して効果的な履修計画を立てる必要があります。

教員免許状を取得する場合は，共通教育等の社会系科目，健康運動系科目，外国語科目，情報関係科目から定められた科目が必修となります。「教育職員免許法」で指定した専門科目を登録する際に，その専門科目の基礎となる共通教育科目及び専門基礎科目を履修していないと登録ができない科目もあるので十分留意する必要があります。詳しくは所属する学部の「教員免許状の手引」を確認してください。

(6) その他

留学する場合には，所属する学部・学科等の定める卒業要件と留学中に履修する予定の授業科目及び単位との関係について，事前に指導教員及び所属学部事務部と十分に相談してください。

# 5・各学部学科等別共通教育等履修基準表

## ■人文社会学部

| 学部 | 学科課程等 | 昼間主夜間主の別 | 入学定員 | 専攻専修コース系 | 共通教育 教養領域 健康運動 | 共通教育 教養領域 人文 | 共通教育 教養領域 社会 | 共通教育 教養領域 自然 | 共通教育 総合領域 総合 | 共通教育 総合領域 琉大特色・地域創生 | 共通教育 総合領域 キャリア関係 | 共通教育 基幹領域 情報関係 | 共通教育 基幹領域 外国語 | 専門基礎教育 専門基礎 | 備考 | 合計（単位） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人文社会学部 | 国際法政学科 | | 80 | 法学プログラム | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | | | 12単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 34単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 20単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上 | | | | | | | ○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上 | | | |
| | | | | 政治・国際関係学プログラム | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | | | 12単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 34単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | | | | | | | | ○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上 | | | |
| | | | | | | 32単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上 | | | | | | | | | | |
| | 人間社会学科 | | 80 | 哲学・教育学プログラム | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | | 12単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 36単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 22単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上 | | | | | | | ○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上 | | | |
| | | | | 心理学プログラム | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | | 12単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 36単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 22単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上 | | | | | | | ○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上 | | | |
| | | | | 社会学プログラム | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | | 12単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 36単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 22単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上 | | | | | | | ○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上 | | | |
| | 琉球アジア文化学科 | | 40 | 歴史・民俗学プログラム | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | | 2単位以上 | 16単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 36単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 18単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上 | | | | | | | ○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語8単位以上 | | | |
| | | | | 言語学プログラム | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | | 2単位以上 | 16単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 36単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 18単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上 | | | | | | | ○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語8単位以上 | | | |
| | | | | 文学プログラム | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | | 2単位以上 | 16単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 36単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 18単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上 | | | | | | | ○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語8単位以上 | | | |
| 計 | | | 200 | | | | | | | | | | | | | |

別表

**平和共生・沖縄理解科目群　指定科目一覧**

| 科目番号 | 科目名 |
|---|---|
| 社06 | 戦争と平和の諸問題 |
| 人06 | 西洋思想と日本・中国の思想 |
| 人09 | 環境の哲学 |
| 人19 | 人間と宗教 |
| 人42 | 東洋の歴史と文化 |
| 人43 | 西洋の歴史と文化 |
| 人44 | 日本の歴史と文化 |
| 人47 | 宗教と世界 |
| 人67 | 比較思想文化論 |
| 総12 | 環境の保全 |
| 総14 | 環境問題 |
| 総47 | 総合環境学概論 |
| 総62 | 環境と文学 |
| 琉01 | 平和論 |
| 琉02 | 核の科学 |
| 琉03 | 女性と社会 |
| 琉05 | 沖縄の基地と戦跡Ⅰ |
| 琉06 | 沖縄の基地と戦跡Ⅱ |

| 科目番号 | 科目名 |
|---|---|
| 琉14 | 琉球の文学 |
| 琉22 | 琉球の自然 |
| 琉23 | 琉球の自然保護 |
| 琉24 | 沖縄のサンゴ礁 |
| 琉25 | 琉球弧の自然誌 |
| 琉26 | 琉球の地理 |
| 琉33 | 現代の国際関係 |
| 琉41-2 | 琉球アジア研究入門 |
| 琉46 | 沖縄の政治と社会 |
| 琉48 | うちなーぐちあしび |
| 琉50 | 沖縄の学力と教育 |
| 琉51 | 琉球語入門Ⅰ |
| 琉52 | 琉球語入門Ⅱ |
| 琉54 | 沖縄の歴史入門 |
| 琉55 | 琉球学入門 |
| 琉56 | 琉球の自然と人 |
| 琉71 | 現代沖縄地域論 |

## ■国際地域創造学部（1）

| 学部 | 学科課程等 | 昼間主 夜間主 の別 | 入学定員 | 専攻 専修 コース 系 | 共通教育 | | | | | | | | | 専門基礎教育 | 備考 | 合計（単位） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 教養領域 | | | | 総合領域 | | | 基幹領域 | | | | |
| | | | | | 健康運動 | 人文 | 社会 | 自然 | 総合 | 琉大特色・地域創生 | キャリア関係 | 情報関係 | 外国語 | 専門基礎 | | |
| 国際地域創造学部 | 国際地域創造学科 | 昼間主コース | 265 | 観光地域デザインプログラム | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | 4単位以上 | | | 12単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 30単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | | ○第一外国語は英語とし、8単位以上<br>○第二外国語4単位以上 | | | |
| | | | | | | 16単位以上<br>※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計16単位以上 | | | | | | | | | | |
| | | | | 経営プログラム | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | 4単位以上 | | | 12単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 30単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | | ○第一外国語は英語とし、8単位以上<br>○第二外国語4単位以上 | | | |
| | | | | | | 16単位以上<br>※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計16単位以上 | | | | | | | | | | |
| | | | | 経済学プログラム | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | 4単位以上 | | | 12単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 30単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | | ○第一外国語は8単位以上<br>○第二外国語4単位以上 | | | |
| | | | | | | 16単位以上<br>※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計16単位以上 | | | | | | | | | | |
| | | | | 国際言語文化プログラム | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | 4単位以上 | | | 16単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 30単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | | 第一外国語：<br>○第一外国語が、英語の場合は「大学英語」「英語購読演習中級」を含むこと<br>○第一外国語が、ドイツ語、フランス語、スペイン語を選択した場合はそれぞれ「インテンシブドイツ語Ⅰ・Ⅱ」、「インテンシブフランス語Ⅰ・Ⅱ」「インテンシブスペイン語Ⅰ・Ⅱ」のいずれか8単位<br>第二外国語：<br>○第一外国語が英語の場合、第二外国語は「インテンシブドイツ語Ⅰ・Ⅱ」、「インテンシブフランス語Ⅰ・Ⅱ」、「インテンシブスペイン語Ⅰ・Ⅱ」、「中国語基礎Ⅰ・Ⅱ」のうちから1つの言語を選択する。<br>○第一外国語が英語以外の言語で、第二外国語で英語を選択する場合、「大学英語」「英語購読演習中級」を含み8単位、あるいは第一外国語で選択した言語以外の同一言語から8単位 | | | |
| | | | | | | 12単位以上<br>※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計12単位以上 | | | | | | | | | | |
| | | | | 地域文化科学プログラム | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | 4単位以上 | | | 12単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 30単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | | ○第一外国語は8単位以上<br>○第二外国語4単位以上 | | | |
| | | | | | | 16単位以上<br>※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計16単位以上 | | | | | | | | | | |

## ■国際地域創造学部（2）

| 学部 | 学科課程等 | 昼間主夜間主の別 | 入学定員 | 専攻専修コース系 | 共通教育 | | | | | | | | | 専門基礎教育 | 備考 | 合計（単位） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 教養領域 | | | | 総合領域 | | | 基幹領域 | | | | |
| | | | | | 健康運動 | 人文 | 社会 | 自然 | 総合 | 琉大特色・地域創生 | キャリア関係 | 情報関係 | 外国語 | 専門基礎 | | |
| 国際地域創造学部 | 国際地域創造学科 | 夜間主コース | 80 | 経営プログラム | 2単位以上 | 4単位以上 | 4単位以上 | 4単位以上 | | | | | 12単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 40単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | | ○第一外国語は８単位以上<br>○第二外国語４単位以上 | | | |
| | | | | | | 26単位以上<br>※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計２６単位以上 | | | | | | | | | | |
| | | | | 経済学プログラム | 2単位以上 | 4単位以上 | 4単位以上 | 4単位以上 | | | | | 12単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 40単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | | ○第一外国語は８単位以上<br>○第二外国語４単位以上 | | | |
| | | | | | | 26単位以上<br>※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計２６単位以上 | | | | | | | | | | |
| | | | | 国際言語文化プログラム | 2単位以上 | 4単位以上 | 4単位以上 | 4単位以上 | | | | | 16単位以上 | 卒業要件の単位には含めない | | 40単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | | ○第一外国語は英語とし、「大学英語」、「英語購読演習中級」、及び選択科目から１科目の８単位を履修すること<br>○第二外国語は、「ドイツ語入門Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」、「インテンシブフランス語Ⅰ・Ⅱ」、「スペイン語入門Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」、「中国語基礎Ⅰ、Ⅱ」のうちから一つの言語を選択して８単位 | | | |
| | | | | | | 22単位以上<br>※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計２２単位以上 | | | | | | | | | | |
| 計 | | | 345 | | | | | | | | | | | | | |

## ■教育学部（1）

| 学部 | 学科課程等 | 昼間主夜間主の別 | 入学定員 | 専攻専修コース系 | 共通教育 教養領域 健康運動 | 共通教育 教養領域 人文 | 共通教育 教養領域 社会 | 共通教育 教養領域 自然 | 共通教育 総合領域 総合 | 共通教育 総合領域 琉大特色・地域創生 | 共通教育 総合領域 キャリア関係 | 共通教育 基幹領域 情報関係 | 共通教育 基幹領域 外国語 | 専門基礎教育 専門基礎 | 備考 | 合計（単位） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育学部 | 学校教育教員養成課程 | | 140 | 教育実践学専修 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 6単位又は8単位以上 | | | 20単位以上<br>＊２つの外国語（計８単位）を修得した場合は、２２単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 心の科学又は人間関係論 | 憲法概論 | 指定科目なし | | | | 情報科学演習 | ○英語のみの場合は「大学英語」４単位を含む６単位<br>○英語以外の一つの外国語を履修する場合は６単位<br>○２つの外国語の場合は各々４単位の計８単位→合計（単位）欄＊参照 | | | |
| | | | | | 14単位以上 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 子ども教育開発専修 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 6単位又は8単位以上 | | | 20単位以上<br>＊２つの外国語（計８単位）を修得した場合は、２２単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 心の科学又は人間関係論 | 憲法概論 | 指定科目なし | | | | 情報科学演習 | ○英語のみの場合は「大学英語」４単位を含む６単位<br>○英語以外の一つの外国語を履修する場合は６単位<br>○２つの外国語の場合は各々４単位の計８単位→合計（単位）欄＊参照 | | | |
| | | | | | 14単位以上 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 国語教育専修 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 6単位又は8単位以上 | | | 20単位以上<br>＊２つの外国語（計８単位）を修得した場合は、２２単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 心の科学又は人間関係論 | 憲法概論 | 指定科目なし | | | | 情報科学演習 | ○英語のみの場合は「大学英語」４単位を含む６単位<br>○英語以外の一つの外国語を履修する場合は６単位<br>○２つの外国語の場合は各々４単位の計８単位→合計（単位）欄＊参照 | | | |
| | | | | | 14単位以上 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 社会科教育専修 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 6単位又は8単位以上 | | | 20単位以上<br>＊２つの外国語（計８単位）を修得した場合は、２２単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | | 憲法概論 | 指定科目なし | | | | 情報科学演習 | ○英語のみの場合は「大学英語」４単位を含む６単位<br>○英語以外の一つの外国語を履修する場合は６単位<br>○２つの外国語の場合は各々４単位の計８単位→合計（単位）欄＊参照 | | | |
| | | | | | 14単位以上 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 数学教育専修 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 6単位又は8単位以上 | 4単位 | | 22単位以上<br>＊２つの外国語（計８単位）を修得した場合は、２４単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | | 憲法概論 | 指定科目なし | | | | 情報科学演習 | ○英語のみの場合は「大学英語」４単位を含む６単位<br>○英語以外の一つの外国語を履修する場合は６単位<br>○２つの外国語の場合は各々４単位の計８単位→合計（単位）欄＊参照 | ○線形代数学Ⅰ<br>○線形代数学Ⅱ | | |
| | | | | | 14単位以上<br>（※専門基礎科目の履修単位のうち２単位までを含む。） | | | | | | | | | | | |
| | | | | 理科教育専修 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 4単位以上 | | | | 2単位以上 | 6単位又は8単位以上 | | | 20単位以上<br>＊２つの外国語（計８単位）を修得した場合は、２２単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | 憲法概論 | 指定科目なし | | | | 情報科学演習 | ○英語のみの場合は「大学英語」４単位を含む６単位<br>○英語以外の一つの外国語を履修する場合は６単位<br>○２つの外国語の場合は各々４単位の計８単位→合計（単位）欄＊参照 | | | |
| | | | | | 14単位以上 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 音楽教育専修 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 6単位又は8単位以上 | | | 20単位以上<br>＊２つの外国語（計８単位）を修得した場合は、２２単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | | 憲法概論 | 指定科目なし | | | | 情報科学演習 | ○英語のみの場合は「大学英語」４単位を含む６単位<br>○英語以外の一つの外国語を履修する場合は６単位<br>○２つの外国語の場合は各々４単位の計８単位→合計（単位）欄＊参照 | | | |
| | | | | | 14単位以上 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 美術教育専修 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 6単位又は8単位以上 | | | 20単位以上<br>＊２つの外国語（計８単位）を修得した場合は、２２単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | 憲法概論 | 指定科目なし | | | | 情報科学演習 | ○英語のみの場合は「大学英語」４単位を含む６単位<br>○英語以外の一つの外国語を履修する場合は６単位<br>○２つの外国語の場合は各々４単位の計８単位→合計（単位）欄＊参照 | | | |
| | | | | | | 上記単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係から合計10単位以上 | | | | | | | | | | |
| | | | | | 14単位以上 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 保健体育専修 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 6単位又は8単位以上 | | | 20単位以上<br>＊２つの外国語（計８単位）を修得した場合は、２２単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | | 憲法概論 | 指定科目なし | | | | 情報科学演習 | ○英語のみの場合は「大学英語」４単位を含む６単位<br>○英語以外の一つの外国語を履修する場合は６単位<br>○２つの外国語の場合は各々４単位の計８単位→合計（単位）欄＊参照 | | | |
| | | | | | 14単位以上 | | | | | | | | | | | |

## ■教育学部（2）

| 学部 | 学科課程等 | 昼間主 夜間主 の別 | 入学定員 | 専攻 専修 コース 系 | 共通教育 | | | | | | | | | 専門基礎教育 | 備考 | 合計（単位） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 教養領域 | | | | 総合領域 | | | 基幹領域 | | | | |
| | | | | | 健康運動 | 人文 | 社会 | 自然 | 総合 | 琉大特色・地域創生 | キャリア関係 | 情報関係 | 外国語 | 専門基礎 | | |
| 教育学部 | 学校教育教員養成課程 | | 140 | 技術教育専修 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 4単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 6単位又は8単位以上 | 2単位以上 | | 22単位以上 ＊２つの外国語（計８単位）を修得した場合は、２４単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | | 憲法概論 | 指定科目なし | | | | 情報科学演習 | ○英語のみの場合は「大学英語」４単位を含む６単位<br>○英語以外の一つの外国語を履修する場合は６単位<br>○２つの外国語の場合は各々４単位の計８単位→合計（単位）欄＊参照 | ○物理学入門Ⅰ | | |
| | | | | | 14単位以上 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 生活科学教育専修 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 6単位又は8単位以上 | | | 20単位以上 ＊２つの外国語（計８単位）を修得した場合は、２２単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | | 憲法概論 | 指定科目なし | | | | 情報科学演習 | ○英語のみの場合は「大学英語」４単位を含む６単位<br>○英語以外の一つの外国語を履修する場合は６単位<br>○２つの外国語の場合は各々４単位の計８単位→合計（単位）欄＊参照 | | | |
| | | | | | 14単位以上 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 英語教育専修 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 6単位又は8単位以上 | | | 20単位以上 ＊２つの外国語（計８単位）を修得した場合は、２２単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | | 憲法概論 | 指定科目なし | | | | 情報科学演習 | ○英語のみの場合は「大学英語」４単位を含む６単位<br>○英語以外の一つの外国語を履修する場合は６単位<br>○２つの外国語の場合は各々４単位の計８単位→合計（単位）欄＊参照 | | | |
| | | | | | 14単位以上 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 特別支援教育専修 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 6単位又は8単位以上 | | | 20単位以上 ＊２つの外国語（計８単位）を修得した場合は、２２単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | | 憲法概論 | 指定科目なし | | | | 情報科学演習 | ○英語のみの場合は「大学英語」４単位を含む６単位<br>○英語以外の一つの外国語を履修する場合は６単位<br>○２つの外国語の場合は各々４単位の計８単位→合計（単位）欄＊参照 | | | |
| | | | | | 14単位以上 | | | | | | | | | | | |
| 計 | | | 140 | | | | | | | | | | | | | |

## ■理学部

| 学部 | 学科課程等 | 昼間主夜間主の別 | 入学定員 | 専攻専修コース系 | 共通教育 教養領域 健康運動 | 共通教育 教養領域 人文 | 共通教育 教養領域 社会 | 共通教育 教養領域 自然 | 共通教育 総合領域 総合 | 共通教育 総合領域 琉大特色・地域創生 | 共通教育 総合領域 キャリア関係 | 共通教育 基幹領域 情報関係 | 共通教育 基幹領域 外国語 | 専門基礎教育 専門基礎 | 備考 | 合計（単位） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学部 | 数理科学科 | | 40 | | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | | | | 8単位以上 | 12単位以上 | （注１）健康運動系及び外国語を除いて、24単位を超えて修得した共通教育及び専門基礎教育の授業科目の単位については、6単位まで専門教育の自由科目として読み替えることができる。ただし、専門基礎科目の「微分積分学入門Ⅰ及びⅡ」「微分積分学STⅠ及びⅡ」の４授業科目を除く。<br>（注２）健康運動系科目は教員免許と関係するからその点を留意して授業科目を選択すること。 | 34単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | | ○英語4単位以上<br>○上記以外の一つの外国語4単位以上 | ○微分積分学ADⅠ<br>○微分積分学ADⅡ<br>○線形代数学Ⅰ<br>○線形代数学Ⅱ<br>○線形代数学演習Ⅰ<br>○線形代数学演習Ⅱ | | |
| | | | | | | 12単位以上 | | | | | | | | | | |
| | | | | | 14単位以上 | | | | | | | | | | | |
| | 物質地球科学科（物理系） | | 65 | | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | | 2単位以上 | | | | 12単位以上 | 9単位以上 | （注１）高等学校で物理を履修していない学生は、物理学Ⅰ・Ⅱの代わりに物理学入門Ⅰ・Ⅱを履修することができる。<br>（注２）高等学校で微分積分を履修していない学生は微分・積分学STⅠ・Ⅱの代わりに微分・積分学入門Ⅰ・Ⅱを履修することができる。また、微分・積分に十分な学力のある学生は、微分・積分学STⅠ・Ⅱの代わりに微分積分学ADⅠ・Ⅱを履修することができる。 | 35単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | | ○英語8単位以上<br>○上記以外の一つの外国語4単位以上 | ○必修9単位<br>物理学Ⅰ・Ⅱ（注1）<br>物理学実験、微分積分学STⅠ・Ⅱ（注2） | | |
| | | | | | | 12 単位以上 | | | | | | | | | | |
| | | | | | 14 単位以上 | | | | | | | | | | | |
| | 物質地球科学科（地学系） | | | | 2単位以上 | 4単位以上 | 4単位以上 | | 2単位 | | | | 14単位以上 | 13単位以上 | | 45単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | | ○英語10単位以上<br>○上記以外の一つの外国語４単位以上 | ○地球科学Ⅰ・Ⅱ（必修）及び物理学Ⅰ・Ⅱ（又は同入門Ⅰ・Ⅱ）、化学Ⅰ・Ⅱ（又は同入門Ⅰ・Ⅱ）の中から４単位<br>○上記必修科目として取得した科目以外の下記科目から５単位以上<br>物理学Ⅰ・Ⅱ（又は同入門Ⅰ・Ⅱ）、物理学実験、化学Ⅰ・Ⅱ（又は同入門Ⅰ・Ⅱ）、化学実験、生物学Ⅰ・Ⅱ、生物学実験、地学実験、微分積分学STⅠ・Ⅱ（又は同入門Ⅰ・Ⅱ）、その他の数学科目 | | |
| | | | | | | 16単位以上 | | | | | | | | | | |
| | | | | | 18単位以上 | | | | | | | | | | | |
| | 海洋自然科学科（化学系） | | 95 | | | 4単位以上 | 4単位以上 | | | | | | 12単位以上 | 14単位以上 | （注１）高等学校で微分・積分を履修していない学生は、微分積分学入門Ⅰ・Ⅱを履修することができる。また、微分・積分に十分な学力のある学生は、微分積分学STⅠ・Ⅱの代わりに微分積分学ADⅠ・Ⅱを履修することができる。<br>（注2）高等学校で物理学を履修していない、あるいは物理基礎（物理Ⅰ）のみを履修している学生は物理学入門Ⅰ・Ⅱを履修することができる。 | 46単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | | ○英語8単位以上<br>○上記以外の一つの外国語4単位以上 | ○化学実験、化学Ⅰ・Ⅱ（必修）<br>○下記科目の中から９単位以上履修すること。<br>微分積分学STⅠ・Ⅱ（注１）<br>線形代数学Ⅰ・Ⅱ、<br>物理学Ⅰ・Ⅱ（注２）<br>物理学実験、生物学Ⅰ・Ⅱ、生物学実験、地学実験 | | |
| | | | | | | 18単位以上 | | | | | | | | | | |
| | | | | | 20単位以上 | | | | | | | | | | | |
| | 海洋自然科学科（生物系） | | | | 2単位以上 | 4単位以上 | 4単位以上 | | 6単位以上 | | | | 12単位以上 | 14単位以上 | （注1）高等学校で化学を履修していない学生は、化学Ⅰ・Ⅱの代わりに化学入門Ⅰ・Ⅱを履修することができる。<br>（注2）高等学校で物理学を履修していない学生は物理学Ⅰ・Ⅱの代わりに物理学入門Ⅰ・Ⅱを履修することができる。<br>（注3）高等学校で微分積分を履修していない学生は、微分積分学STⅠ・Ⅱの代わりに微分積分学入門Ⅰ・Ⅱを履修することができる。 | 46単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | | ○英語8単位以上<br>○上記以外の一つの外国語4単位以上 | ○生物学実験、生物学Ⅰ・Ⅱ（必修）<br>○下記の科目の中から９単位以上履修すること。化学Ⅰ・Ⅱ（注1）、化学実験、物理学Ⅰ・Ⅱ（注2）、物理学実験、地学実験、微分積分学STⅠ・Ⅱ（注3）、線形代数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ | | |
| | | | | | | 18単位以上 | | | | | | | | | | |
| | | | | | 20単位以上 | | | | | | | | | | | |
| 計 | | | 200 | | | | | | | | | | | | | |

## ■医学部

<table>
<tr><th rowspan="3">学部</th><th rowspan="3">学科課程等</th><th rowspan="3">昼間主<br>夜間主<br>の別</th><th rowspan="3">入学定員</th><th rowspan="3">専攻<br>専修<br>コース<br>系</th><th colspan="9">共通教育</th><th rowspan="2">専門基礎教育</th><th rowspan="3">備　考</th><th rowspan="3">合計<br>（単位）</th></tr>
<tr><th colspan="4">教養領域</th><th colspan="3">総合領域</th><th colspan="2">基幹領域</th></tr>
<tr><th>健康運動</th><th>人文</th><th>社会</th><th>自然</th><th>総合</th><th>琉大特色・地域創生</th><th>キャリア関係</th><th>情報関係</th><th>外国語</th><th>専門基礎</th></tr>
<tr><td rowspan="4">医学部</td><td rowspan="4">医学科</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">112</td><td rowspan="4"></td><td></td><td>2<br>単位以上</td><td>2<br>単位以上</td><td></td><td>6単位</td><td></td><td></td><td>2単位</td><td>6単位</td><td>3単位</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">25<br>単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="4">指定科目<br>なし</td><td>ヒトの科学と人間の医学（医学概論A）<br>動物実験の基礎<br>倫理総合討論</td><td>指定科目なし</td><td>指定科目<br>なし</td><td>情報科学<br>演習</td><td rowspan="2">○英語６単位以上</td><td rowspan="3">○必修科目（３単位）<br>統計学<br>化学実験</td></tr>
<tr><td colspan="9"></td></tr>
<tr><td colspan="9">22単位以上<br>※上記の単位（18単位）を含め、さらに人文、社会、琉大特色・地域創生の中から４単位以上選択し、合計22単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="4">医学部</td><td rowspan="4">保健学科</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="4">60</td><td rowspan="2">看護学コース</td><td>2<br>単位以上</td><td>4<br>単位以上</td><td>4<br>単位以上</td><td>4<br>単位以上</td><td colspan="2">2単位</td><td>2<br>単位以上</td><td>8単位</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">28<br>単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">指定科目<br>なし</td><td>人間関係論、生命倫理を履修することが望ましい</td><td>指定科目<br>なし</td><td>ヒトの健康科学</td><td colspan="2">指定科目なし</td><td>情報科学<br>演習</td><td rowspan="2">○英語８単位<br>又は<br>○英語４単位及び他の一つの外国語４単位</td></tr>
<tr><td colspan="7">18単位以上<br>※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から２単位以上選択し、合計18単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">検査技術学コース</td><td>2<br>単位以上</td><td>4<br>単位以上</td><td>4<br>単位以上</td><td>4<br>単位以上</td><td>2単位</td><td></td><td></td><td>2<br>単位以上</td><td>8単位</td><td>7単位</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">33<br>単位以上</td></tr>
<tr><td>指定科目<br>なし</td><td colspan="2">指定科目なし</td><td>ヒトの健康科学</td><td>動物実験の基礎、生命科学入門から履修することが望ましい。</td><td></td><td></td><td>情報科学<br>演習</td><td rowspan="2">○英語８単位<br>又は<br>○英語４単位及び他の一つの外国語４単位</td><td rowspan="2">○必修科目（７単位）<br>○化学Ⅰ又は化学入門Ⅱから１科目<br>○化学実験<br>○生物学Ⅱ<br>○物理学Ⅱ又は物理入門Ⅱから１科目</td></tr>
<tr><td colspan="7">16単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="3">計</td><td>172</td><td colspan="12"></td></tr>
</table>

## ■工学部

| 学部 | 学科課程等 | 昼間主 夜間主 の別 | 入学定員 | 専攻 専修 コース 系 | 共通教育 教養領域 健康運動 | 共通教育 教養領域 人文 | 共通教育 教養領域 社会 | 共通教育 教養領域 自然 | 共通教育 総合領域 総合 | 共通教育 総合領域 琉大特色・地域創生 | 共通教育 総合領域 キャリア関係 | 共通教育 基幹領域 情報関係 | 共通教育 基幹領域 外国語 | 専門基礎教育 専門基礎 | 備考 | 合計（単位） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工学部 | 工学科 | | 350 | 機械工学コース | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 指定単位なし | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 12単位以上 | 11単位以上 | （注１）微分積分学入門Ⅰ・Ⅱ、物理学入門Ⅰ・Ⅱの履修に際しては、指導教員の指導を受けること。<br>（注２）情報科学演習は卒業要件の単位に含めない。 | 41単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | ○日本語表現法入門 | ○「大学英語」を含む英語8単位以上及び英語以外の一つの外国語4単位以上<br>又は<br>○「大学英語」を含む英語12単位以上 | ○微分積分学STⅠ・Ⅱ（又は同入門Ⅰ・Ⅱ）<br>○物理学Ⅰ・Ⅱ（又は同入門Ⅰ・Ⅱ）<br>○物理学実験<br>○化学入門Ⅰ | | |
| | | | | | | 14単位以上<br>上記の指定単位を含め、合計14単位以上（ただし、人文、社会、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係で合計12単位以上） | | | | | | | | | |
| | | | | エネルギー環境工学コース | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 指定単位なし | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 12単位以上 | 14単位以上 | （注１）微分積分学入門Ⅰ・Ⅱ、物理学入門Ⅰ・Ⅱの履修に際しては、指導教員の指導を受けること。<br>（注２）情報科学演習は卒業要件の単位に含めない。 | 44単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | ○日本語表現法入門 | ○「大学英語」を含む英語8単位以上及び英語以外の一つの外国語4単位以上<br>又は<br>○「大学英語」を含む英語12単位以上 | ○微分積分学STⅠ・Ⅱ（又は同入門Ⅰ・Ⅱ）<br>○物理学Ⅰ・Ⅱ（又は同入門Ⅰ・Ⅱ）<br>○物理学実験<br>○化学入門Ⅰ・Ⅱ<br>○化学実験 | | |
| | | | | | | 14単位以上<br>上記の指定単位を含め、合計14単位以上（ただし、人文、社会、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係で合計12単位以上） | | | | | | | | | |
| | | | | 電気システム工学コース | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 指定単位なし | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 12単位以上 | 10単位以上 | （注）情報科学演習は卒業要件の単位に含めない。 | 40単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | ○日本語表現法入門 | ○「大学英語」、「英語講読演習中級」、「英語プレゼンテーション演習中級」を含む英語８単位以上及び英語以外の一つの外国語４単位以上<br>又は<br>○「大学英語」、「英語講読演習中級」、「英語プレゼンテーション演習中級」を含む英語12単位以上 | ○微分積分学STⅠ・Ⅱ<br>○物理学Ⅰ<br>○物理学実験<br>○化学入門Ⅰ<br>○化学実験 | | |
| | | | | | | 14単位以上<br>上記の指定単位を含め、合計14単位以上（ただし、人文、社会、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係で合計12単位以上） | | | | | | | | | |
| | | | | 電子情報通信コース | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 指定単位なし | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 12単位以上 | 10単位以上 | （注）情報科学演習は卒業要件の単位に含めない。 | 40単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | ○日本語表現法入門 | ○「大学英語」、「英語講読演習中級」、「英語プレゼンテーション演習中級」を含む英語８単位以上及び英語以外の一つの外国語４単位以上<br>又は<br>○「大学英語」、「英語講読演習中級」、「英語プレゼンテーション演習中級」を含む英語12単位以上 | ○微分積分学STⅠ・Ⅱ<br>○物理学Ⅰ<br>○物理学実験<br>○化学入門Ⅰ<br>○化学実験 | | |
| | | | | | | 14単位以上<br>上記の指定単位を含め、合計14単位以上（ただし、人文、社会、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係で合計12単位以上） | | | | | | | | | |
| | | | | 社会基盤デザインコース | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 指定単位なし | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 12単位以上 | 4単位以上 | （注）化学入門Ⅰ・Ⅱの履修に際しては、指導教員の指導を受けること。 | 34単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | ○日本語表現法入門 | ○「大学英語」を含む英語8単位以上及び英語以外の一つの外国語4単位以上<br>又は<br>○「大学英語」を含む英語12単位以上 | ○微分積分学STⅠ・Ⅱ<br>○物理学Ⅰ・Ⅱ<br>○化学Ⅰ・Ⅱ（又は同入門Ⅰ・Ⅱ）<br>○物理学実験<br>○化学実験<br>上記の中から，4単位以上選択 | | |
| | | | | | | 14単位以上<br>上記の指定単位を含め、合計14単位以上（ただし、人文、社会、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係で合計12単位以上） | | | | | | | | | |
| | | | | 建築学コース | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 指定単位なし | 2単位以上 | | | 2単位以上 | 12単位以上 | 8単位以上 | | 38単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | ○日本語表現法入門 | ○「大学英語」を含む英語8単位以上及び英語以外の一つの外国語4単位以上<br>又は<br>○「大学英語」を含む英語12単位以上 | ○微分積分学STⅠ・Ⅱ<br>○物理学Ⅰ<br>○物理学実験<br>○化学実験 | | |
| | | | | | | 14単位以上<br>上記の指定単位を含め、合計14単位以上（ただし、人文、社会、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係で合計12単位以上） | | | | | | | | | |
| | | | | 知能情報コース | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 指定単位なし | 2単位以上 | | | 2単位 | 12単位以上 | 6単位以上 | （注１）微分積分学入門Ⅰ・Ⅱ、物理学入門Ⅰの履修に際しては、指導教員の指導を受けること。<br>（注２）情報科学演習は卒業要件の単位に含めない。 | 36単位以上 |
| | | | | | 指定科目なし | 指定科目なし | | | | | | ○日本語表現法入門 | ○「大学英語」、「英語講読演習中級」、「英語プレゼンテーション演習中級」を含む英語８単位以上及び英語以外の一つの外国語４単位以上<br>又は<br>○「大学英語」、「英語講読演習中級」、「英語プレゼンテーション演習中級」を含む英語12単位以上 | ○微分積分学STⅠ・Ⅱ（又は同入門Ⅰ・Ⅱ）<br>○物理学Ⅰ（又は同入門Ⅰ） | | |
| | | | | | | 14単位以上<br>上記の指定単位を含め、合計14単位以上（ただし、人文、社会、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係で合計12単位以上） | | | | | | | | | |
| 計 | | | 350 | | | | | | | | | | | | | |

## ■農学部

| 学部 | 学科課程等 | 昼間主 夜間主 の別 | 入学定員 | 専攻 専修 コース 系 | 共通教育 教養領域 健康運動 | 共通教育 教養領域 人文 | 共通教育 教養領域 社会 | 共通教育 教養領域 自然 | 共通教育 総合領域 総合 | 共通教育 総合領域 琉大特色・地域創生 | 共通教育 総合領域 キャリア関係 | 共通教育 基幹領域 情報関係 | 共通教育 基幹領域 外国語 | 専門基礎教育 専門基礎 | 備考 | 合計（単位） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 農学部 | 亜熱帯地域農学科 | | 35 | | 4単位以上 | 4単位以上 | 4単位以上 | | | | 2単位以上 | 2単位 | 12単位以上 | 10単位以上 | （注）専門基礎教育の転換科目を履修する場合は、指導教員の指導を受けること。 | 44単位以上 |
| | | | | | 「健康・スポーツ科学」を含む | 指定科目なし | | | | | キャリア形成入門 | 情報科学演習 | ○英語８単位以上<br>○上記以外の一つの外国語４単位以上 | 生物系<br>生物学Ⅰ・Ⅱ、生物学実験<br>化学系<br>化学Ⅰ・Ⅱ（または化学入門Ⅰ・Ⅱ）、化学実験<br>数学系<br>微分積分学STⅠ・Ⅱ（または微分積分学入門Ⅰ・Ⅱ）、線形代数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ<br>物理系<br>物理学Ⅰ・Ⅱ（または物理学入門Ⅰ・Ⅱ）、物理学実験<br>○上記4系のうち2系を各5単位以上、計10単位以上。 | | |
| | | | | | | 16単位以上<br>※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係科目の中から６単位以上選択し合計16単位以上 | | | | | | | | | |
| | 亜熱帯農林環境科学科 | | 35 | | 4単位以上 | 4単位以上 | 4単位以上 | | | | 2単位以上 | 2単位 | 12単位以上 | 10単位以上 | （注）専門基礎教育の転換科目を履修する場合は、指導教員の指導を受けること。 | 44単位以上 |
| | | | | | 「健康・スポーツ科学」を含む | 指定科目なし | | | | | キャリア形成入門 | 情報科学演習 | ○英語８単位以上<br>○上記以外の一つの外国語４単位以上 | 生物系<br>生物学Ⅰ・Ⅱ、生物学実験<br>化学系<br>化学Ⅰ・Ⅱ（または化学入門Ⅰ・Ⅱ）、化学実験<br>数学系<br>微分積分学STⅠ・Ⅱ（または微分積分学入門Ⅰ・Ⅱ）、線形代数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ<br>物理系<br>物理学Ⅰ・Ⅱ（または物理学入門Ⅰ・Ⅱ）、物理学実験<br>○上記4系のうち2系を各5単位以上、計10単位以上。 | | |
| | | | | | | 16単位以上<br>※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係科目の中から６単位以上選択し合計16単位以上 | | | | | | | | | |
| | 地域農業工学科 | | 25 | | 4単位以上 | 4単位以上 | 4単位以上 | | | | 2単位以上 | 2単位 | 12単位以上 | 12単位以上 | （注）専門基礎教育の転換科目を履修する場合は、指導教員の指導を受けること。 | 46単位以上 |
| | | | | | 「健康・スポーツ科学」を含む | 指定科目なし | | | | | キャリア形成入門 | 情報科学演習 | ○英語８単位以上<br>○上記以外の一つの外国語４単位以上 | 生物系<br>生物学Ⅰ・Ⅱ、生物学実験<br>化学系<br>化学Ⅰ・Ⅱ（または化学入門Ⅰ・Ⅱ）、化学実験<br>数学系<br>微分積分学STⅠ・Ⅱ（または微分積分学入門Ⅰ・Ⅱ）、線形代数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ<br>物理系<br>物理学Ⅰ・Ⅱ（または物理学入門Ⅰ・Ⅱ）、物理学実験<br>○上記4系のうち3系からそれぞれ2単位以上、かつ、2系から実験を含め各5単位以上、計12単位以上。 | | |
| | | | | | | 16単位以上<br>※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係科目の中から６単位以上選択し合計16単位以上 | | | | | | | | | |
| | 亜熱帯生物資源科学科 | | 45 | 生物機能開発学／食品機能科学／発酵・生命科学 | 4単位以上 | 4単位以上 | 4単位以上 | | | | 2単位以上 | 2単位 | 12単位以上 | 12単位以上 | （注）専門基礎教育の転換科目を履修する場合は、指導教員の指導を受けること。 | 46単位以上 |
| | | | | | 「健康・スポーツ科学」を含む | 指定科目なし | | | | | キャリア形成入門 | 情報科学演習 | ○英語８単位以上<br>○上記以外の一つの外国語４単位以上 | 生物系<br>生物学Ⅰ・Ⅱ、生物学実験<br>化学系<br>化学Ⅰ・Ⅱ（または化学入門Ⅰ・Ⅱ）、化学実験<br>物理系<br>物理学Ⅰ・Ⅱ（または物理学入門Ⅰ・Ⅱ）、物理学実験<br>○上記３系の各系から2単位以上、かつ、2系を各5単位以上、計12単位以上。 | | |
| | | | | | | 16単位以上<br>※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係科目の中から6単位以上選択し合計16単位以上 | | | | | | | | | |
| | | | | 健康・栄養科学コース | 2単位以上 | 4単位以上 | 4単位以上 | | | | 2単位以上 | 2単位 | 12単位以上 | 8単位以上 | （注）専門基礎教育の転換科目を履修する場合は、指導教員の指導を受けること。 | 38単位以上 |
| | | | | | 「運動・スポーツ科学演習」を含む | 指定科目なし | | | | | キャリア形成入門 | 情報科学演習 | ○英語８単位以上<br>○上記以外の一つの外国語４単位以上 | 生物系<br>生物学Ⅰ・Ⅱ<br>化学系<br>化学Ⅰ・Ⅱ（または化学入門Ⅰ・Ⅱ）<br>物理系<br>物理学Ⅰ・Ⅱ（または物理学入門Ⅰ・Ⅱ） | | |
| | | | | | | 14単位以上<br>※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係科目の中から４単位以上選択し合計16単位以上 | | | | | | | | | |
| 計 | | | 140 | | | | | | | | | | | | | |

## 6．履修登録手続き

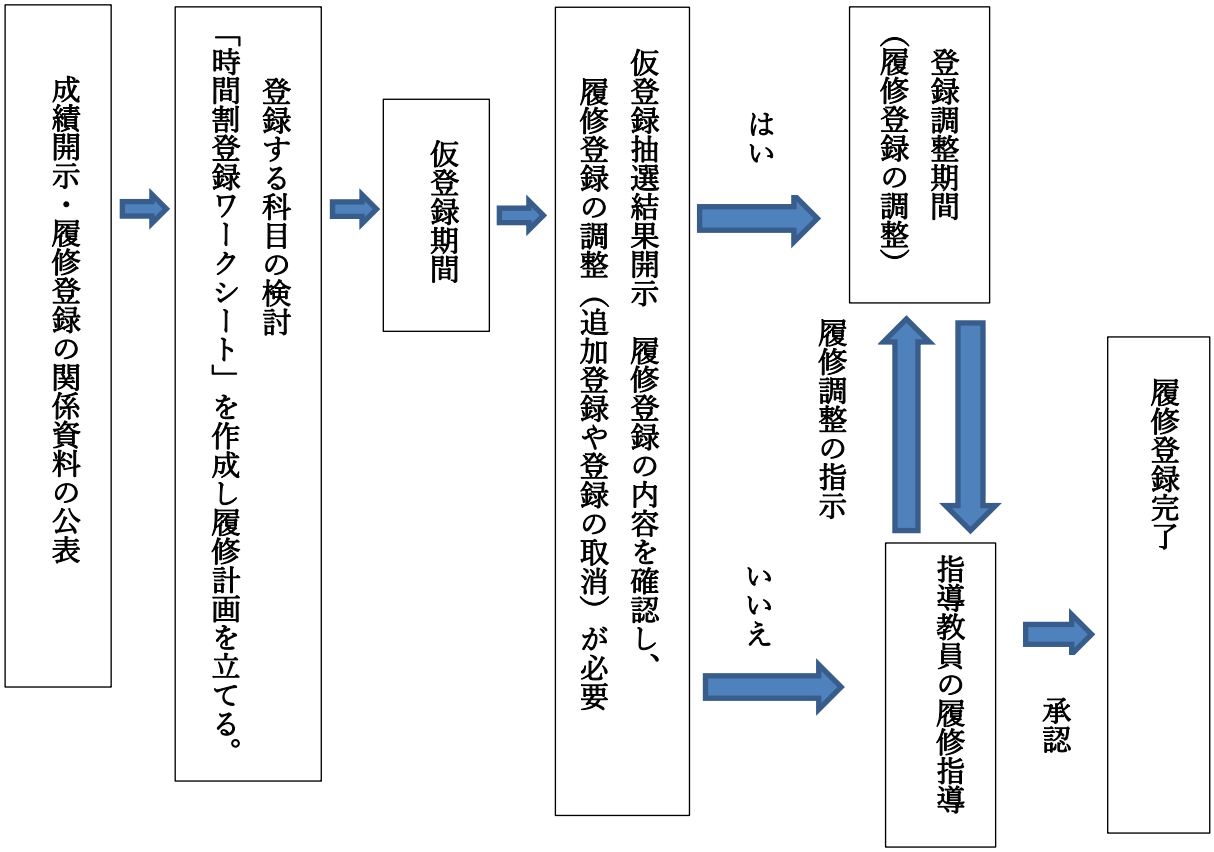
(1) 履修登録とは

本学の授業科目は選択履修制ですから，「何曜日の」「何時限目の」「どの教員の」「どういう授業を受けるのか」，皆さんが自ら立てた履修計画に基づき、所定の期日までに、履修を希望する授業科目を登録し、指導教員の履修指導を受け、承認を得て履修登録を完了しなければなりません。こうした一連の手続きを「履修登録」といいます。

履修登録は、前学期と後学期の年２回実施します。各学期の定められた期間に、履修を希望する授業科目を教務情報システムで登録しなければなりません。履修登録を行っていない授業科目については、授業に出席し、試験を受けても、当該科目の単位を修得することはできません。

前学期は、前学期科目、通年科目が登録できます。１年間の履修計画を立てたうえで登録してください。

(2) 履修登録の流れ



（３）履修登録の方法

履修登録は，＜教務情報システム＞を使用しWebで登録します。学内の実習室等のパソコンや学外のインターネットに接続した端末（パソコン，スマートフォン，タブレット型コンピュータ）から申請します。

＜教務情報システム＞の説明については、☞35ページを参照ください。

（４）履修登録の関係資料

履修登録の準備として、履修計画を立て時間割を作成する時に必要な資料です。

① ＜教務情報システム＞ID・パスワード
　学部学科オリエンテーションで配布されます。

② 学生便覧

③ 授業時間配当表

④ シラバス

⑤ 時間割登録ワークシート
　②～⑤の説明については☞34ページを参照ください。

（５）仮登録期間・登録調整期間

各学期の登録期間については、学年暦で定められていますが、詳細については各学期の登録実施要項で確認してください。

① 仮登録期間

履修を希望する授業科目の登録は、仮登録期間に＜教務情報システム＞を使用しWebで登録します。

・各学期に授業時間配当表がポータルサイト＜教務情報＞で公開されますので、Web登録の前に、学生便覧やシラバスを参考に「時間割登録ワークシート」を作成してください。

・各学部学科等別共通教育等履修基準表（☞12ページを参照）に基づき，合計18単位程度は受講するように組んでください。一部の科目については受講クラスが指定されております。これは指定されたクラスに，登録申請すれば，登録が優先されるというものです（授業時間配当表に掲載されている登録実施要項を参照）。

・授業時間配当表の期間欄に，「通年」とある科目で単位数が４単位のものについては，前学期２単位と後学期２単位を合わせて通年で４単位となっていますので注意してください。通年の科目を前学期だけ又は後学期だけ履修することは，認められません。

・希望者が登録人員を上回る場合に、抽選で履修者を決定しますので、Webで履修登録申

請しても登録できない場合があります。必修科目やクラス指定されている授業科目は、必ず第１希望で申請してください。また、同時間の他の開講科目を用意しておくか、あるいは異なる時間の他の科目で組み換えができるようにしておいてください。

・各学部とも登録申請期間（仮登録期間）に登録申請できる単位は、２０単位を上限としています。ただし、登録調整期間では、成績が優秀である場合には上限を超えて、履修を認めています。各学部の登録上限単位数及び上限超過基準（☞25ページ「７．各学部登録上限単位数」）参照）

② 登録調整期間

仮登録期間の抽選の結果を確認し、登録エラーがある、抽選に漏れた科目がある、新たに追加登録したい等、授業科目の追加登録及び取消等の調整が必要な場合は、この期間に調整することができます。

・追加登録は、希望する授業科目の開講日の２日前までに申請するように心がけてください。事前に教員から許可コードを入手して登録する授業科目や授業に参加するためのIDとパスワードを必要とする授業科目がありますので、授業科目の開講日の当日や前日に追加登録を申請した場合に授業に参加できない場合があります。

・登録調整期間内に指導教員からの履修指導（履修登録の内容や登録上限単位数の確認）を受け、承認を得て履修登録を完了させなければなりません。期限内に履修登録を完了させるために、指導教員へは最終日の３日前までに申請する等、余裕を持って行動してください。

・授業科目を追加する場合は、申請方法が授業科目によって異なりますので、＜教務情報システム＞の「授業選択画面」で、登録調整方法を確認してください。

・登録調整の方法

| | |
|---|---|
| 教員許可制（Web申請） | ＜教務情報システム＞で授業担当教員の許可を得て登録する |
| 許可コード | 事前に授業担当教員にメール等で連絡を取り、許可コードを入手し＜教務情報システム＞で登録する。 |
| 自動登録 | ＜教務情報システム＞で登録申請をし、登録人員を満たすまで自動で登録される。 |

（６）登録の完了

登録調整期間内に指導教員の履修の確認を受け、登録調整の指示がある場合は追加登録・取消をしてください。履修登録は、指導教員の履修指導を受け、承認を得て完了します。

履修登録の調整結果を＜教務情報システム＞の「履修時間割表」に反映されているか確認し、ＰＤＦやプリントアウトして保管してください。

（７）履修登録のよくある質問

① 仮登録期間

| |
|---|
| Q. どの授業を履修したらよいか分かりません。 |
| A.　４月の各学部学科オリエンテーションで指導教員より履修登録についての説明があります。１年次は主に共通教育等科目を登録しますので、「共通教育等履修基準表（P12）」に明記されている授業科目、「授業時間配当表」で学部学科が指定されている授業科目、専門科目の１年次必修科目は必ず登録するようにしてください。<br>　履修登録については、指導教員より履修指導を必ず受けてください。 |
| Q. 履修したい科目の時間割が重なっている。 |
| A. 同一授業時間に開講される複数の授業科目を重複して登録することはできません。必修科目や卒業に必要な科目、資格取得に必用な科目の場合は、指導教員へ助言を求めてください。 |

② 登録調整期間

| |
|---|
| Q. 仮登録期間の抽選結果で必修科目が漏れてしまった。 |
| A. 必修科目は、登録調整期間中に追加登録をしてください。 |
| Q. 講義コード検索で検索しても履修したい科目が表示されない。 |
| A. 授業時間配当表で講義コードを確認してください。 |

③ 授業について

| |
|---|
| Q. 履修登録を完了させ授業を受けたが、学びたい内容と違っていた。内容が難しく授業について行けない。 |
| A. 履修登録を完了した後に、履修を中止することができる履修中止（ウィズドロー）制度があります。詳しくは、「１０．履修中止（ウィズドロー）制度（P28）」をご確認ください。 |
| Q. 初回の授業をどのように受講したらよいか分かりません。 |
| A. シラバスに授業方法の記載がありますので、シラバスを確認してください。 |

④ 教務情報システムについて

| |
|---|
| Q. 自宅からログインできますか。 |
| A.　学外からのログインが可能です。なお、成績は学内からの接続に限定しています。<br>　学外から成績を確認したい場合は、学外から学内のネットワークへ接続する必要があります。学外から学内ネットワークへの接続方法は、情報基盤統括センターHPで確認できます。 |

## 7．各学部登録上限単位数

各学部とも１個学期に登録できる単位数の上限は，20単位まで（集中講義は含まれません）となります。ただし成績が優秀である場合には上限を超えて，履修を認めています。各学部の登録上限単位数及び上限超過基準は以下のとおりです。

■人文社会学部

（1）１個学期の登録上限単位数は20単位とする。

（2）直前に在学した学期の５段階評価によるGPAが3.0以上の者は指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。

（3）集中講義については，登録上限単位に含めない。

（4）海外交流協定校へ留学した学生については，帰国後の２個学期のみ，指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。

（5）３年次編入学生については，入学後の２個学期のみ，指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。

（6）GPAの値にかかわらず，下記の資格取得予定者は指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みを６単位まで認める。ただし，超過する分は資格取得に必要な下記の科目とする。

◆教員免許 ：科目番号が「全教」の科目、教科教育法、教職実践演習のみ

◆社会福祉士 ：ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅲ，ソーシャルワーク実習指導Ⅰ～Ⅲ

◆学芸員 ：博物館学関係授業科目（必修科目のみ）

◆日本語教育副専攻 ：必修科目のみ

◆学校図書館司書教諭：学校経営と学校図書館，学校図書館メディアの構成，学習指導と学校図書館，読書と豊かな人間性，情報メディアの活用

（7）上記（６）の（資格取得希望者）に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

■国際地域創造学部

（1）１個学期の登録上限単位数は20単位とする。

（2）直前に在学した学期の５段階評価によるGPAが3.0以上の者は指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。

（3）集中講義については，登録上限単位に含めない。

（4）海外交流協定校へ留学した学生については，帰国後の２個学期のみ，指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。

（5）３年次編入学生については，入学後の２個学期のみ，指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。

（6）GPAの値にかかわらず，下記の資格取得予定者は指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みを６単位まで認める。ただし，超過する分は資格取得に必要な下記の科目とする。

◆教 員 免 許：科目番号が「全教」の科目，教科教育法、教職実践演習のみ

◆学 芸 員：博物館学関係授業科目（必修科目のみ）

◆日本語教育副専攻：必修科目のみ

◆学校図書館司書教諭：学校経営と学校図書館，学校図書館メディアの構成，学習指導と学校図書館，読書と豊かな人間性，情報メディアの活用

(7)前記(6)の(資格取得希望者)に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

■教育学部

(1)1個学期の登録上限単位数は20単位とする。

(2)以下の場合は上限の上積みを認める。

① 直前の学期のGPAが3.0以上の者は，28単位。

② 直前の学期のGPAが2.5以上3.0未満の者は，26単位。

③ 直前の学期のGPAが2.0以上2.5未満の者は，24単位。

・新入生や復学者等の最初の学期に関しては，前項にかかわらず年次指導教員の承認を得て25単位まで履修登録できるものとする。

・休学や病欠などのやむを得ない事由により，直前の学期のすべての授業科目を履修できなかった者の履修登録単位数の上限は，年次指導教員の承認を得て25単位まで履修登録できるものとする。

※以下の科目は上限単位から除外し，科目提供責任者が課す登録要件さえ満たしていれば履修登録できるものとする。

◆教職実践に関する科目

◆卒業研究または卒業論文

◆集中講義で行われる授業科目

■理学部

(1)1個学期の登録上限単位数は20単位とする。

(2)教職・学芸員等の資格取得等のための科目については，指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みを認める。

■医学部

(1)1個学期の登録上限単位数は20単位とする。

(2)新入生や復学者等の最初の学期に関しては，前項にかかわらず年次指導教員の承認を得て30単位まで履修登録できるものとする。

(3)所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については，指導教員の指導・承認を得て上限超過を認める。

(4)教職・各種資格取得希望者については，指導教員の指導・承認を得て上限超過を認める。

■工学部

(1)1個学期の登録上限単位数は20単位とする。

機械工学コース：直前の学期の成績が優秀である等の理由で指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

エネルギー環境工学コース：直前の学期の成績が優秀である等の理由で指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

電気システム工学コース：

① 直前の学期の成績が，集中講義を除く科目において8科目以上がA又はBであり，指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

② 交換留学を申請する学生については，指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

③ 教職関連科目履修者については、指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

電子情報通信コース：① 直前の学期の成績が，集中講義を除く科目において8科目以上がA又はBであり，指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

② 交換留学を申請する学生については，指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

③教職関連科目履修者については、指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

社会基盤デザインコース：直前の学期の成績が優秀である等の理由で指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

建築学コース：直前の学期の成績が優秀である等の理由で指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

知能情報コース：① 指導教員へ事前に学習計画を提示し，指導・承認を得た場合は24単位まで認める。
ただし，教職免許関連科目履修者については26単位まで認める。

② 直前の学期の成績が優れている場合には，指導教員の承認を得て26単位まで認める。

■農学部

（1）1個学期の登録上限単位数は20単位とする。

（2）優れた成績を修得した学生については、指導教員の指導・承認を得て20単位以上の登録を認める。

「優れた成績」と「上限単位数」を登録の前学期のGPAで以下の基準で区分する。

1．特に優れた成績　GPA3．0以上：29単位を上限とする。

2．優れた成績　GPA2．5以上：26単位を上限とする。

（3）教職・各種資格取得を希望する学生は、指導教員の指導・承認を得た場合は、29単位までの登録を認める。

## 8．クォーター科目

本学の授業科目は，多くが前学期又は後学期の16週間（試験を含む）を通じて授業が行われています。これに対して，クォーター科目とは前学期と後学期のそれぞれ前半と後半に，８週（試験を含む）で授業を行う科目のことです。第１クォーターから第４クォーターの各期間や試験期間等は学年暦や教務情報システムで確認してください。クォーター科目は授業時間割配当表において，第１クォーターに行われる科目は「1Q」，第２クォーターに行われる科目は「2Q」などと明記しています。

クォーター科目の履修登録は，第１クォーターと第２クォーターの科目は前学期の履修登録期間に，第３クォーターと第４クォーターの科目は後学期の履修登録期間に行います。特に，必修科目などの登録忘れがないように注意してください。

（1）前学期及び後学期の授業期間をそれぞれ前半と後半に分け，各８週（試験を含む。）で授業を行います。

<table>
<tr><th></th><th colspan="6">前学期</th><th colspan="6">後学期</th></tr>
<tr><th></th><th>４月</th><th>５月</th><th>６月</th><th>７月</th><th>８月</th><th>９月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>１月</th><th>２月</th><th>３月</th></tr>
<tr><td>２学期制</td><td colspan="5">前学期授業期間<br>15週＋期末試験（1週）</td><td rowspan="3">夏季休業</td><td colspan="5">後学期授業期間<br>15週＋期末試験（1週）</td><td rowspan="3">春季休業</td></tr>
<tr><td rowspan="2">クォーター科目</td><td colspan="3">第1クォーター<br>（前学期前半）</td><td colspan="2">第2クォーター<br>（前学期後半）</td><td colspan="3">第3クォーター<br>（後学期前半）</td><td colspan="2">第4クォーター<br>（後学期後半）</td></tr>
<tr><td colspan="3">授業期間<br>8週（試験含む</td><td colspan="2">）8週（試験含む）</td><td colspan="3">授業期間<br>8週（試験含む）</td><td colspan="2">授業期間<br>8週（試験含む）</td></tr>
</table>

(2) クォーター科目の履修登録は，第２クォーター及び第４クォーターについても２学期制同様，学期始めに行います。登録調整期間内における科目の取消・追加も同様です。

(3) 登録上限単位数（CAP制）については，１個学期（セメスター）20単位（クォーター科目も含めて）を上限とします。例えば，前学期の科目と第１クォーター及び第２クォーターの科目を合わせて登録する場合も上限が20単位となります。

(4) 前学期及び後学期の授業期間をそれぞれ前半と後半に分け，各８週（試験を含む。）で授業を行います。

(5) 入学・卒業の時期や休学・復学・除籍・再入学・授業料等については現行制度で対応します。

① 入学・卒業の時期

現行の２学期制に基づいて対応するため，例えば，第２クォーター開始時での入学や第１クォーター終了時での卒業はできません。

② 修業年限

現行の２学期制に基づいて対応するため，第１クォーターを終え，第２クォーターを休学した場合は，１個学期を満たしたとは見なされません。

③ 復学・再入学

現行の２学期制に基づいて対応するため，復学・再入学は学期の初めとします。

④ 授業料の徴収

現行の２学期制に基づいて対応します。

## 9．期末試験

期末試験の期間は学年暦に記載しています。科目（クォーター科目など）によっては授業期間中に試験が行われる場合がありますので，シラバスで確認してください。

期末試験では本人確認のため，「学生証」を必ず提示してください。

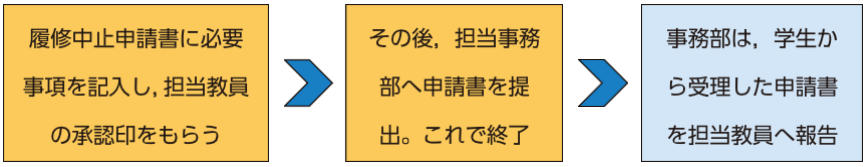
本学が実施する試験等において不正行為を行った場合は懲戒処分の対象となり，退学，停学などの処分が科される場合があります。

悪質性，重大性等から，不正行為を行った授業科目又は任意の授業科目，当該学期の全ての授業科目が無効（不合格：０点）として取扱われるケースもあります。

## 10．履修中止（ウィズドロー）制度

履修登録をして授業に出たものの，自分が学びたい内容と違っていた，授業に十分についていくことができないなどの理由により，学生が定められた期間内に履修登録した授業科目の履修を取り消すことができる制度です。当該科目を履修中止して別の科目を登録することはできません。

【履修中止申請の流れ】




１．学生は，履修中止申請書を記入し，「承認印」欄に指導教員の承認印をもらう。
※履修中止申請書は，教務情報ページhttp://rais.std.u-ryukyu.ac.jp/dc/から入手可能です。

２．学生は，学年暦で決められた手続き期間内に，申請書を次の事務室へ提出する。

提出先：１，２年次（医学部２年次を除く）⇒教育支援課（共通教育棟１号館）
３年次以上（医学部２年次を含む）⇒各学部事務室

３．学生が行う履修中止の手続きはこれで終了。

４．学生から申請書を受理した事務部は，速やかに授業科目の担当教員へ報告する。

## 11. GPA制度

GPAとは，グレード・ポイント・アベレージのことで，学生の履修科目の成績評価の平均値を表します。このGPAは奨学金申請，交換留学生の選抜基準，履修上限単位数の設定などに活用されます。GPAは次の式により計算し，小数点以下第３位を四捨五入します。現在のGPA制度では，Ｆ（不可）の科目は０ポイントとしてカウントされますが，履修中止が承認された科目はW（Withdrawの頭文字）と表示し，GPAには反映されません。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{GP} \times \text{単位数})\ \text{の総和}}{\text{履修登録単位数}}$$

注１）合否（Ｐ又はＦ）により判定する授業科目及び成績評価がＲ（認定）の授業科目は，履修登録単位数に含めない。

注２）履修中止が承認された授業科目の成績評価はWと表示し，履修登録単位数に含めない。

| 区　分 | 評価 | 評点(100点満点中) | GP | 評価内容(英文内容) |
|---|---|---|---|---|
| 合　格 | A | 90点以上 | 4 | 特に優れた成績（Excellent） |
| | B | 80点以上90点未満 | 3 | 優れた成績（Good） |
| | C | 70点以上80点未満 | 2 | 良好な成績（Fair） |
| | D | 60点以上70点未満 | 1 | 合格と認められる最低限度の成績（Pass） |
| 不合格 | F | 60点未満 | 0 | 合格と認められない成績（Failure） |

## 12. 成績評価不服申立制度

学生が履修登録を完了し，その科目を履修した場合は，科目担当教員が成績評価を行い，学年暦で定められた成績開示日に学生に開示されます。

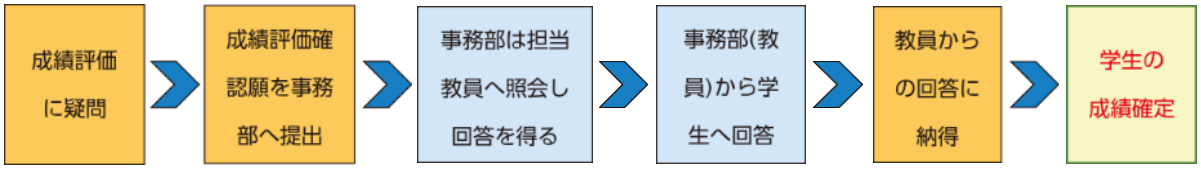
成績評価に疑問がある学生は，成績開示日から当該学期終了後５日を経過する日までに（ただし土日祝日を除く。）直接事務部へ「成績評価確認願」を提出することができます。

成績評価不服申立の手続きや日程については，掲示板や教務情報システムの「お知らせ」で確認してください。

【成績評価不服申立の流れ】

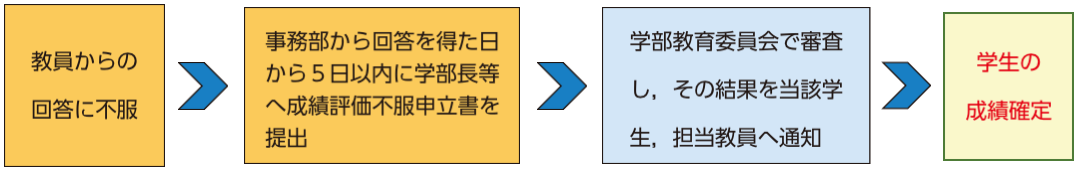
成績評価不服申立の手続きは２段階になります。手続きに必要な提出書類は，教務情報ページhttp://rais.skr.u-ryukyu.ac.jp/dc/から入手可能です。

**◆第１段階（成績評価に疑問がある）**




・成績開示日から原則として当該学期終了後５日を経過する日まで（土日祝日を除く）に事務部へ「成績評価確認願」を提出。
・学生からの「成績評価確認願」を受けて事務部が担当教員へ照会し，回答を学生へ通知。
・学生が担当教員からの回答を受け入れる場合，成績が確定となる。

**◆第２段階（第１段階での担当教員の回答に不服）**




・第１段階での科目担当教員からの回答に不服がある場合，学生は回答を得た日から５日以内（土日祝日を除く）に学部長等に「成績評価不服申立書」を提出。
・学部長は学部教育委員会等で審査し，その結果を当該学生，科目担当教員へ通知する。これで学生の成績が確定となる。

# II 令和３年度学年暦

学年暦には，履修登録期間，授業開始日，成績開示日，授業日数が足りない曜日の授業を他の曜日に振り替える授業振替日，卒業式の日などが記載されていますので，各自で確認しましょう。琉球大学教務情報HPに掲載されています。

令　和　３　年　度　学　年　暦　※１

（令和２年11月25日制定）

| | | |
|---|---|---|
| （令和3年） | ４月　１日（木） | 学年及び前学期開始 |
| | ４月　１日（木） | 授業時間配当表公開　※２ |
| | ４月　２日（金）～　４月　７日（水） | 授業科目の仮登録（前学期／第１・第２クォーター）※３ |
| | ４月　２日（金）～　４月　７日（水） | 新入生オリエンテーション |
| | ４月　６日（火） | **入　学　式** |
| | ４月　８日（木） | 仮登録結果開示（前学期／第１・第２クォーター） |
| | ４月　９日（金） | **授業開始（前学期／第１クォーター）** |
| | ４月　９日（金）～　４月２２日（木） | 登録調整期間（前学期／第１・第２クォーター） |
| | ４月１３日（火）～　４月２７日（火） | 定期健康診断 |
| | ４月２３日（金）～　４月３０日（金） | 履修中止手続期間（第１クォーター） |
| | ４月２３日（金）～　５月１４日（金） | 履修中止手続期間（前学期／前学期開始の通年科目） |
| | ４月３０日（金） | 木曜日授業振替※４ |
| | ５月２２日（土） | 開学記念日 |
| | ５月２９日（土） | 体　育　祭 |
| | ６月　１日（火）～１０月３１日（日） | 教育実習 |
| | ６月１０日（木） | **授業開始（第２クォーター）** |
| | ６月１０日（木）～　６月３０日（水） | 履修中止手続期間（第２クォーター） |
| | ６月　９日（水） | **授業終了（第１クォーター）※８** |
| | ６月２３日（水） | 慰霊の日（休講） |
| | ７月　１日（木） | 成績開示（第１クォーター） |
| | ７月１０日（土） | 琉球大学説明会（オープンキャンパス） |
| | ８月　２日（月）～　８月　３日（火） | 前学期の試験期間（※５） |
| | ８月　５日（木）～　８月　６日（金） | |
| | ８月１１日（水） | |
| | ８月１０日（火） | 英語全学統一テスト（※６） |
| | ８月１２日（木）～　８月１３日（金） | **予　備　日（※７）** |
| | ８月１６日（月） | **英語全学統一テスト予備日（※６），授業終了（前学期／第２クォーター）※８** |
| | ８月１７日（火）～　９月３０日（木） | 夏季休業 |
| | ９月　１日（水） | 成績開示（前学期／第２クォーター）※２ |
| | ９月２１日（火） | 授業時間配当表公開　※２ |
| | ９月２２日（水）～　９月２７日（月） | 授業科目の仮登録（後学期／第３・第４クォーター）※３ |
| | ９月２５日（土）～　９月２６日（日） | 琉　大　祭 |
| | ９月３０日（木） | 仮登録結果開示（後学期／第３・第４クォーター） |
| | ９月３０日（木） | 前学期終了 |
| | １０月　１日（金） | 後学期開始 |
| | １０月　１日（金） | **授業開始（後学期／第３クォーター）** |
| | １０月　１日（金）～１０月１４日（木） | 登録調整期間（後学期／第３・第４クォーター） |
| | １０月　９日（土）～１０月１０日（日） | 琉大祭予備日（※９） |
| | １０月１５日（金）～１０月２５日（月） | 履修中止手続期間（第３クォーター） |
| | １０月１５日（金）～１１月　５日（金） | 履修中止手続期間（後学期／後学期開始の通年科目） |
| | １１月２６日（金） | 水曜日授業振替※４ |
| | １１月２９日（月） | **授業開始（第４クォーター）** |
| | １１月２９日（月）～１２月２０日（月） | 履修中止手続期間（第４クォーター） |
| | １１月３０日（火） | **授業終了（第３クォーター）※８** |
| | １２月　１日（水） | 学校推薦型選抜　（休講） |
| | １２月２５日（土）～　１月　３日（月） | 冬季休業 |
| （令和４年） | １月　４日（火） | 授業開始 |
| | １月　４日（火） | 成績開示（第３クォーター） |
| | １月１４日（金） | 大学入学共通テスト準備（休講） |
| | １月１５日（土）～　１月１６日（日） | 大学入学共通テスト |
| | １月２７日（木） | 後学期の試験期間（※５） |
| | ２月　１日（火）～　２月　２日（水） | |
| | ２月　４日（金） | |
| | ２月　７日（月） | |
| | ２月　３日（木） | 英語全学統一テスト（※６） |
| | ２月　８日（火）～　２月　９日（水） | **予　備　日（※７）** |
| | ２月１０日（木） | **英語全学統一テスト予備日（※６），授業終了（後学期／第４クォーター）※８** |
| | ２月１１日（金）～　３月３１日（木） | 春季休業 |
| | ２月２５日（金）～　２月２６日（土） | 一般選抜（前期） |
| | ３月　１日（火） | 成績開示（後学期／第４クォーター）※２ |
| | ３月１２日（土）～　３月１３日（日） | 一般選抜（後期） |
| | ３月１８日（金） | **卒　業　式** |
| | ３月３１日（木） | 学年及び後学期終了 |

※１：　医学部医学科の学年暦はこの学年暦に準じ，医学部において定める。
　　各研究科の学年暦はこの学年暦に準じ，各研究科において定めることができる。
※２：　教務情報システムを利用して提供する。
※３：　クォーターとは，前学期と後学期のそれぞれ前半と後半に，８週（試験を含む）で授業を行う期間のこと。
※４：　指定の曜日の振替日とし，本来の曜日の講義・試験・補講・実習を行わない。
※５：　試験期間は，期末試験の他に講義・補講等を行うことがある。
※６：　前学期は大学英語の受講者が対象。後学期は前学期未履修者及び３年次が対象。
※７：　予備日は台風等で全学休講になった日の授業又は定期試験を行う。
※８：　クォーター科目の期末試験は，原則として期間の最終日に行う。
※９：　準備，片付けを含む。

※　新型コロナウィルス感染症の状況等により、学年暦が変更されることがあります。

# III 「履修登録」「履修中止」「成績評価不服申立」などの１年間の流れ

本学におけるクォーター科目とは，前学期と後学期のそれぞれ前半と後半に，8週（試験を含む）で授業を行う科目のことです。従来の2学期制のセメスター科目とクォーター科目の履修登録，履修中止，成績評価不服申立の期間などについて確認しましょう。（クォーター科目については☞27ページを参照）

**令和３年度前学期，第１・第２クォーター**

| セメスター科目<br>（2 学期制での提供科目：週 1 回の 15 週）<br>2 単位（90 分授業）の場合：週 1 回の 15 週＋期末試験 | 併用 | クォーター科目<br>2 単位（90 分授業）の場合：<br>週 2 回の 8 週（試験を含む）で授業完結 |
|---|---|---|
| 授業科目の登録申請期間（仮登録期間）（4/2～4/7） | 前学期授業 4月 | 第一クォーター授業：授業科目の登録申請期間（仮登録期間）（4/2～4/7） |
| 仮登録結果開示（4/8） Webで確認します。 | | 仮登録結果開示（4/8） Webで確認します。 |
| 授業開始（4/9） | | 第1クォーター（以下Q）授業開始（4/9） |
| 登録調整期間（4/9～4/22）<br>登録調整機関は科目の取消、追加登録が可能です。また、指導教員履修指導を受け、履修登録の承認を得て登録を完了させてください。 | | 第1Q、第2Qの登録調整期間（4/9～4/22）<br>登録調整機関は科目の取消、追加登録が可能です。また、指導教員履修指導を受け、履修登録の承認を得て登録を完了させてください。 |
| 履修中止手続期間（4/23～5/14） | 5月 | 第1Q 履修中止手続期間（4/23～4/30） |
| | 6月 | 第二クォーター：第2Q授業開始（6/10） |
| | 7月 | 第1Q科目成績開示日（7/1） |
| 英語全学統一テスト（8/10）予備日（8/16） | 夏季休業 8月 | 夏季休業：英語全学統一テスト（8/10）予備日（8/16） |
| 台風等の予備（8/12，8/13） | | 台風等の予備（8/12，8/13） |
| 成績開示日（9/1） | | 第２Q成績開示日 （9/1） |
| 成績評価に疑問（申出期間）<br>※日程は教務情報HPに掲載します。 | 9月 | 成績評価に疑問（申出期間）<br>※日程は教務情報HPで確認 |

## 令和３年度後学期，第３・第４クォーター

| セメスター科目 | 併用 | クォーター科目 |
|---|---|---|
| （2 学期制での提供科目：週 1 回の 15 週）<br>2 単位（90 分授業）の場合：週 1 回の 15 週＋期末試験 | | 2 単位（90 分授業）の場合：<br>週 2 回の 8 週（試験を含む）で授業完結 |

**セメスター科目**

- 授業科目の登録申請期間（仮登録期間）（9/22～9/27）
- 授業開始（10/1）
- 登録調整期間（10/1～10/14）
  登録調整機関は科目の取消、追加登録が可能です。また、指導教員履修指導を受け、履修登録の承認を得て登録を完了させてください。
- 履修中止手続期間（10/15～11/5）
- 英語全学統一テスト（2/3）予備日（2/10）
- 台風等の予備（2/8，2/9）
- 成績開示日（3/1）
- 成績評価に疑問（申出期間）
  ※日程は教務情報HPに掲載します。

**クォーター科目**

- 授業科目の登録申請期間（仮登録期間）（9/22～9/27）
- 第3Q授業開始（10/1）
- 第3Q、第4Qの登録調整期間（10/1～10/14）
  登録調整機関は科目の取消、追加登録が可能です。また、指導教員履修指導を受け、履修登録の承認を得て登録を完了させてください。
- 第3Q履修中止手続期間（10/15～10/25）
- 第4Qの授業開始日（11/29）
- 第3Q科目成績開示日（1/4）
- 英語全学統一テスト（2/3）予備日（2/10）
- 台風等の予備（2/8，2/9）
- 第４Q成績開示日（3/1）
- 成績評価に疑問（申出期間）
  ※日程は教務情報HPに掲載します。

**併用**

| 月 | セメスター | クォーター |
|---|---|---|
| 10月 | 後学期授業 | 第三クォーター授業 |
| 11月 | 後学期授業 | 第三クォーター授業 |
| 12月 | 後学期授業 | 第四クォーター |
| 冬季休業 | 冬季休業 | 冬季休業 |
| 1月 | 後学期授業 | 第四クォーター |
| 2月 | 後学期授業 | 第四クォーター |
| 3月 | 春季休業 | 春季休業 |

# Ⅳ 学生便覧・授業時間配当表の閲覧，教務情報システムを利用した授業科目の登録・取消し，　成績確認，アンケートへの回答方法など

学生便覧，授業時間配当表はWeb上で公開しています。インターネットが利用できる端末（パソコン，スマートフォン，タブレット型コンピュータ）で「琉球大学教務情報」と検索すると，ページを開くことができます。

学生は，教務情報システムを介して授業科目の登録・取消しや成績の確認を行います。システムを利用するに当たってはIDとパスワードが必要となり，新入生の学科別オリエンテーションにおいて配付します。パスワードは，他の人に知られることのないよう，取扱いには十分注意しましょう。

また，本学では教育の質保証及び改善を行うため，及び4（6）年間の修学意識・状況の変化を学生自身が振り返ることができるよう，学生へのアンケート調査を実施しています。これらのアンケートもシステムを介して回答することになりますので，アンケート実施の際は積極的な協力をお願いします。回答した内容はすべて統計的に処理され，個人が特定される形で公表されることはありません。教務情報システムの利用方法マニュアルも掲載していますので，確認してください。

## 1．学生便覧・授業時間配当表の見方

【琉球大学　教務情報ページ】

【URL】http://rais.skr.u-ryukyu.ac.jp/dc/

琉球大学　教務情報

① 学生便覧には，規則や各学部，学科のカリキュラム，卒業要件等を掲載しています。

② 授業時間配当表には，前学期・後学期に開講される授業科目の曜日・時限等を掲載しています。科目名をクリックすると，シラバス（授業計画）が確認できます。

共通教育科目(昼)

| 講義コード | 科目番号 | 科目名 | 単位 | 週時間 | 必修選択 | 所属 | 担当教員名 | 組名 | 登録人員 | 受講年次 | 曜日 | 時限 | 教室 | 期間 | 調整期間登録(許可コード) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10036901 | 人01 | 人間と哲学の知 01組 | 2 | 2-0 | | 非 | 新木 順子 | 1 | 100 | 1~4 | 水 | 5 | 共2-205 | 半年 | | |
| 10036902 | 人01 | 人間と哲学の知 02組 | 2 | 2-0 | | 法 | 久高 將晃 | 2 | 100 | 1~5 | 木 | 2 | 共2-201 | 半年 | | |
| 10037400 | 人06 | 西洋思想と日本・中国の思想 | 2 | 2-0 | | 非 | 安次嶺 勲 | | 100 | 1~6 | 水 | 4 | 共2-104 | 半年 | | |
| 10084700 | 人09 | 環境の哲学 | 2 | 2-0 | | 法 | 浜崎盛康 | | 100 | 1~7 | 火 | 2 | 共2-305 | 半年 | | |

③ 教務情報システムにログインができます。

④ 休学や退学等の手続きを行う場合に使用する様式をダウンロードできます。

## 2．教務情報システムの説明

ログイン画面 【URL】https://tiglon.jim.u-ryukyu.ac.jp/portal/

◆ID：情報基盤統括センター発行のIDを入力します。

◆パスワード：情報基盤統括センター発行のパスワードを入力します。

◆ログイン：IDとパスワードを入力後，ログインボタンをクリックします。

◆シラバスの検索（ID・パスワードなしでも確認可能）

◆講義の休講・補講情報（ID・パスワードなしでも確認可能）

## 3．授業科目の登録・取消しの方法

○履修登録（仮登録期間）

教務情報システムにログインした後，「履修･成績情報」をクリックし，さらに「履修登録」をクリックします。

❶ 追加ボタン

履修する コマ（ 曜日・時限 ）の「追加ボタン」をクリックします。

その曜日・時限に開講される授業の一覧（ ❷ 授業選択画面 ）が 新規画面で表示されます。

❸ 追加ボタン（ 授業 ）
「追加ボタン」をクリックして履修する授業を選択すると、
❸ のその曜日・時限に選択した授業が表示されます。

◆選択した授業科目が表示されたら，登録は確定しています。

## ○履修登録・取消（登録調整期間）

教務情報システムにログインした後，「履修・成績情報」をクリックし，さらに「履修登録」をクリックします。

◆希望の曜日・時限から,「追加」ボタンをクリックすると，授業選択画面が表示されます。

共通教育 | 自学部 | 他学部

| | 学部名 | 講義コード | 科目名 | 教員名 | 時限 | | 単位数 | 選択区分 | 定員 | 登録者数 | 登録調整方法 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 共通教育等科目 | 100377022 | 心の科学 02組 | 教員 太郎 | 月 1 | 追加 | 2 | | 100 | 0 | Web教員許可制 | 定員充足 |
| 2 | 共通教育等科目 | 100378042 | 人間関係論 04組 | 教員 太郎 | 月 1 | 追加 | 2 | | 80 | 0 | 許可コード制 | 定員充足 |
| 3 | 共通教育等科目 | 100415012 | 生物学Ⅱ 01組 | 教員 太郎 | 月 1 | 追加 | 2 | | 110 | 0 | 自動登録制 | 定員充足 |

◆調整期間の登録方法（赤枠）を確認し，追加したい科目の「追加ボタン」をクリックします。

**【登録調整方法】WEB教員許可制**

教員の承認後に履修登録が完了します。実行ボタンを押してください。

| | |
|---|---|
| 講義コード | 100399012 |
| 科目番号 | 先04 |
| 科目名 | 線形代数学Ⅱ 01組 |
| 担当教員 | 教員 太郎 |

キャンセル　実行

◆「実行ボタン」をクリックします。授業担当教員が承認すると時間割画面に反映されます。
◆科目の取消をしたい場合は，時間割の「削除ボタン」をクリックし，「実行ボタン」をクリックします。

【調整期間】許可コード制

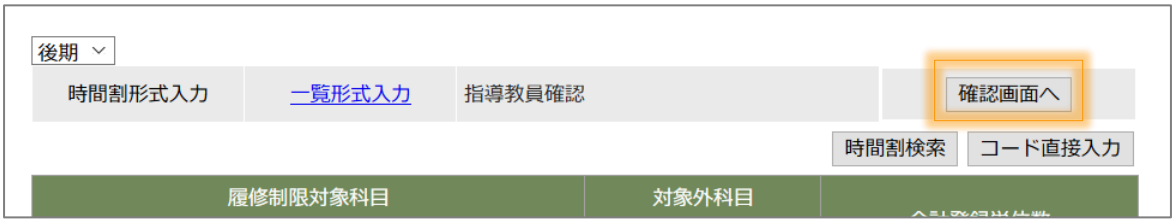
◆許可コード入力画面が表示されますので，授業担当教員からもらった許可コードを入力します。
◆科目の取消をしたい場合は，時間割の「削除ボタン」をクリックします。許可コード入力画面が表示されますので，授業担当教員からもらった許可コードを入力します。

【調整期間】自動登録制

◆「実行ボタン」をクリックすると，定員に空きがあれば自動登録されます。
◆科目の取消をしたい場合は，時間割の「削除ボタン」をクリックします。「実行ボタン」をクリックすると，自動的に削除されます。

## ○指導教員の履修指導（登録調整期間）

登録調整後，「指導教員確認」から「確認画面へ」をクリックし、さらに「指導教員に確認を依頼する」をクリックします。




【確認画面】

◆指導教員が承認すると，履修登録は完了です。

## 4．成績の確認方法

教務情報システムにログインした後，「履修･成績情報」をクリックし，さらに「成績参 照」をクリックします。

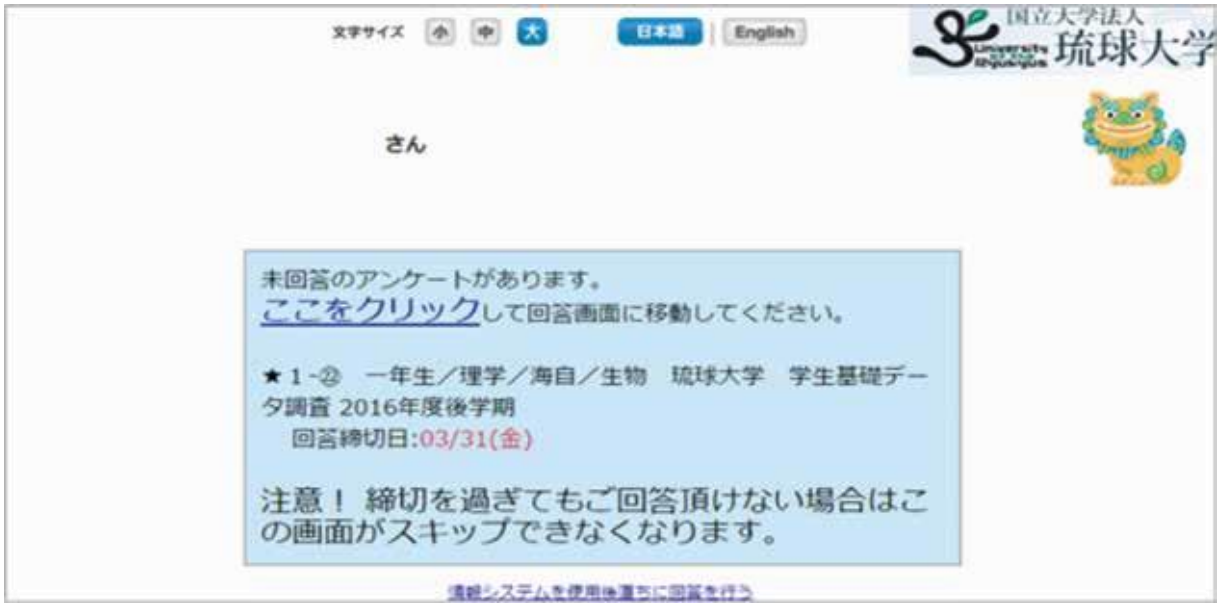
「成績明細の表示」で，過去の成績や対象年度･学期の成績の確認ができます。また，個別成績表の表示で全部の成績が確認できます。

「成績情報」は学内のネットワークからアクセス可能です。

学外から学内のネットワークにアクセスする方法は、情報基盤統括センターHPを確認してください。

## 5．アンケートへの回答

アンケートを実施している場合は，ログイン後に，次のようなメッセージが表示されますのでご協力お願いします。



## 6．その他住所変更等の入力

本人住所情報と保証人情報を入力し，変更が生じたらその都度修正してください。

※「編集」をクリックすると，編集可能画面に切り替わります。

※「編集」をクリックすると，編集可能画面に切り替わります。

緊急連絡先となりますので「本人住所情報」と「保証人情報」は必ず最新の状態にしてください。

# V 副専攻

本学には，学部及び学科等で編成する教育課程以外に，学生の複眼的な思考力，総合的な理解力等を育成するための教育課程（副専攻）を開設しています。副専攻を修了した学生には，卒業証書の他に副専攻修了証が授与されます。

本学での副専攻は現在５つで，どれも特徴的で本学でしか学べない副専攻です。副専攻の本登録は２年次からですが，１年次から予備登録ができますので，ぜひ検討してください。

(1) 総合環境学副専攻

現代における環境問題の重要性は日々大きくなるばかりです。総合環境学副専攻で学び，環境についての知（環境リテラシー）を身につけ，現代社会のさまざまな分野で活躍し，貢献できる力を身に付けませんか。

(2) 琉球学副専攻

奄美群島と沖縄県全域を含めた地域は，「本土」とは異なった歴史，文化，自然環境等があります。琉球の歴史，文化・言語，自然環境等ついて体系的に学び，琉球＝「足元」の多様性を理解することができる副専攻です。また，「足元」の多様性を理解することにより，アジア・太平洋地域を始め，世界における多様性をより深く理解できます。

(3) 日本語教育副専攻

国語としての日本語教育や日本語教師に関心がありませんか。日本語教育副専攻の科目を体系に履修することで，総合的かつ実践的な日本語教育能力を身に付けることができます。

(4) 地域創生副専攻

地域社会は，人口減少，活力の喪失など様々な問題を抱えています。沖縄県でも一部の地域で人口が減少しており例外ではありません。そこで，本学では，平成29年度から地域創生副専攻を設置しました。各地域の持続・発展に向け，地域の未来を切りひらくことのできる力を身に付けることができます。

(5) グローバル津梁プログラム副専攻

ボーダレス化した社会において語学力だけではなく，異なる他者と協働するメンタリティ及びスキルをもつ「グローバル人材」が必要とされています。

本副専攻では、英語科目、専門系科目の履修に加えて、留学生と日本人学生の協働科目における実践を通して、グローバル人材に必要な語学力、他者と協働する精神・技術を養います。

# VI 学習サポート（ラーニング・サポートデスク）

ラーニング・サポートデスクでは、大学院生TA（ティーチング・アシスタント）がレポートの書き方、TAの専攻分野に関する勉強法、数学・物理・化学の授業に関することなどをサポートします。学修に困ったことがあれば、気軽にご利用ください。

・場所：附属図書館２階　ラーニングコモンズ
・時間：休業期間を除く平日13時～19時
・連絡・問い合わせ先：

附属図書館 情報サービス課 情報リテラシー係（Tel：098-895-8168）

ラーニング・サポートデスクについては以下のURL、QRコードからも確認できます。

（附属図書館ホームページ＞ラーニング・サポートデスク）

https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/support/learning/

# VII 休学・退学等の手続き

## 1．休学

病気や学資の支弁が困難なとき，その他やむを得ない理由がある場合には休学することができますが，授業料の減免措置や日本学生支援機構等の奨学金貸与制度，他の財団等の奨学金への応募などの支援が考えられますので，指導教員あるいは学生部学生支援課に相談してください。

休学の手続きは病気の場合を除き，前学期は７月１日まで，後学期は１月20日までに行ってください。休学における授業料の納付については，次のとおり取り扱われますので，留意してください。

| | |
|---|---|
| ○前学期：休学手続きは７月１日まで | |
| | ・４月１日までに休学を許可された場合の授業料→全額免除<br>・４月２日から４月30日の間に休学が許可された場合の授業料→４月分のみ納付（５月分以降は免除）<br>・５月１日以降に休学を許可された場合の授業料→全額納付 |
| ○後学期：休学手続きは１月20日まで | |
| | ・10月１日までに休学を許可された場合の授業料→全額免除<br>・10月２日から10月30日の間に休学を許可された場合の授業料→10月分のみ納付（11月分以降は免除）<br>・11月１日以降に休学を許可された場合の授業料→全額納付 |

## 2．復学

休学期間を満了した場合又は休学期間満了前にその理由が消滅した場合は，所定の期日までに当該学部長を経て願い出，学長の許可を得て復学することができます。病気による休学者が復学する場合は，医師の診断書を添付しなければなりません。

## 3．転学部・転学科等

希望の学部・学科等に入学したものの，「勉学等を進め社会への理解を深めるうちに将来の進路が変わった」「将来の進路は不確定のまま大学に入学したが勉学を進める上で自分にふさわしい進路を見出した」「自分が所属する学部・学科等の実情がわかるにつれ，当初考えていたものと違っていることに気づいた」等の場合，転学部・転学科等の制度を活用することができます。

転学部・転学科等の選考は，「希望学部が課す科目の試験」「在学中の成績」「入学した際の入学者選抜学力試験の成績」「面接」により審査されます。詳しくは指導教員あるいは学部の学務係に相談してください。

## 4．退学

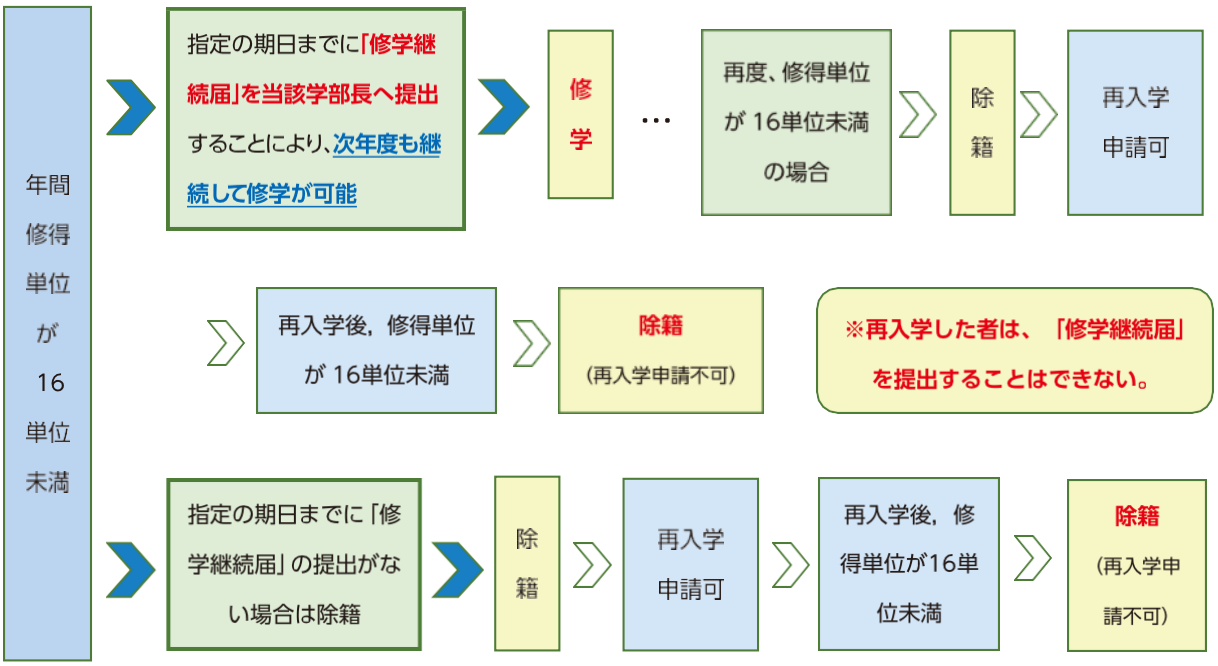
経済的な理由や心身の病気を理由に退学を願い出ることができます。退学すべきかどうかは一人で悩まず，保護者，指導教員，当該学部の学務係と事前に相談することをお勧めします。よい解決策が見つかるかも知れません。

願い出による退学の場合，再入学の申請は退学後４年以内となります。前学期からの再入学を希望する場合は２月10日まで，後学期からの再入学を希望する場合は８月10日までに当該学部で再入学の申請手続きを行う必要があります。再入学を申請する場合はその申請期限に十分気をつけてください。なお，再入学は１回限りです。

## 5．除籍

本学では，１年間（４月から３月まで）の修得単位が16単位未満の場合（卒業に要する最終学年＝卒業に必要でかつ十分な科目及び単位の登録を完了した者を除く）に除籍（本学の身分を失う）となる制度があります。平成30年度から修得単位が16単位未満の場合であっても，引き続き次年度も修学を継続する意思を有し，所定の期日までに修学継続届を学部長に届け出た場合には，１回に限り除籍対象から除かれます（※）。ただし，所定の期日までに必要な手続きを行わない場合は自動的に除籍となります。所定の期日とは，後学期（第４クォーターを含む。）の成績開示日から７日以内（ただし，土日祝日を除く）です。詳しくは所属学部の学務係へお尋ねください。

※医学科にあっては，第1年次（入学初年度の者及び入学後初めて履修を開始する者）の修得単位が16単位未満の者に限ります。



また，当該学期の授業料が未納の場合も除籍の対象となります。前学期は９月末日までに，後学期は３月末日まで（卒業に要する最終学年の学生で，９月卒業予定者にあっては８月末日まで，３月卒業予定者にあっては２月末日まで）に授業料を納付しない場合は除籍となります。入学料が９月末日までに未納の場合も除籍となります。

なお，以下の場合は除籍の対象外となります。

①学年の中途で再入学，復学及び休学を許可された者，停学（１月以下の停学を除く。）の処分を受けた者の修得単位が16単位未満の場合

②学生交流協定による交換留学の派遣学生については，派遣期間を含む年度の修得単位が16単位未満の場合

③修得単位が16単位未満の場合であっても，引き続き次年度も修学を継続する意思を有し，所定の期日までに修学継続届を学部長に届け出た場合（ただし，修学継続届の提出は１回に限る）

## 6．再入学

願い出による退学，修得単位が16単位未満あるいは授業料・入学料未納等により除籍された者は１回に限り再入学が可能となります。ただし，再入学の申請は退学後４年以内です。再入学の申請手続きは，前学期は２月10日まで，後学期は８月10日までに当該学部で行う必要がありますので，再入学を申請する場合はその申請期限に十分気をつけてください。

## 7．手続き様式の入手方法

休学，復学や退学の手続きを行う場合は，教務情報ページの「手続き様式」から様式を印刷し，利用してください。所属学部によって，様式が若干異なる場合もありますので，自分の所属学部の様式を使用してください。

成績評価不服申立を行う場合の様式や，修学継続届についても，教務情報ページの「手続き様式」（☞34ページを参照）から印刷し，使用することができます。

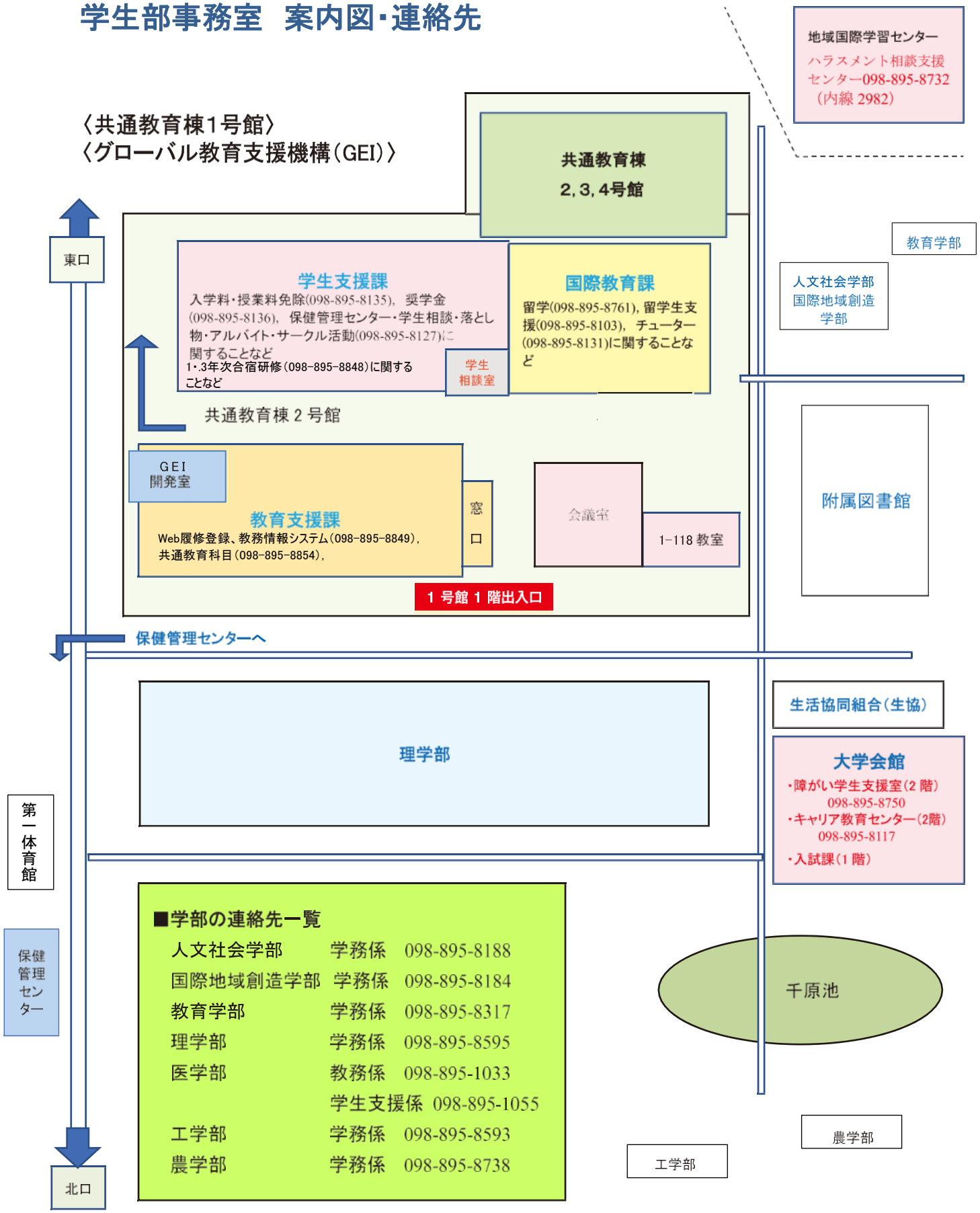
# VIII 台風時等の授業の取扱い

沖縄本島内に暴風警報，暴風特別警報又は大雨特別警報（暴風警報等）が発表されている間は，時間帯によって授業が休講となります。その時間帯のポイントを押さえておきましょう。休講となった授業の補講については，授業担当教員へ尋ねてください。

**■暴風警報等が解除となる場合の時間帯による授業の取扱い**

| | | |
|---|---|---|
| 暴風警報等が午前６時30分までに解除 | ➡ | ◦第１時限目の授業から行う。 |
| 暴風警報等が<br>午前６時31分～午前11時までの間に解除 | ➡ | ◦１～２時限目は休講<br>◦第３時限目(12: 50-14: 20)の授業から行う。<br>※医学科の専門科目は4時限目 (12: 50 - 13: 50)からの授業を行う。 |
| 暴風警報等が<br>午前11時01分～午後４時までの間に解除 | ➡ | ◦１～５時限目は休講<br>◦第6時限目の (18: 00-19: 30)の授業から行う。<br>※医学科の専門科目の授業はすべて休講 |
| 暴風警報等が<br>午後４時01分以降解除されない場合 | ➡ | ◦当日の授業はすべて休講 |

# 学生部事務室　案内図・連絡先



# 本学の学生生活に必要な情報は、こちらから！

**学生のための履修の手引き（令和3年度）**

この冊子は、ホームページ上で公開されています。

**教務情報HP**　http://rais.skr.u-ryukyu.ac.jp/dc/

学生便覧（規則、各学部・学科のカリキュラム、卒業要件等を記載）や授業時間配当割（授業科目の曜日・時限を記載）などが掲載されています。

**教務情報システムログインページ**

授業科目の登録・取消、成績確認、シラバスの検索
休講情報、補講情報の確認を行うことができます。
https://tiglon.jim.u-ryukyu.ac.jp/Portal/

**琉大生のための情報リテラシーガイドブック**

琉球大学の新入生を対象に大学での学習生活で「情報リテラシー」を身につけてもらうために執筆されたものです。
　レポートを書くための基礎知識、著作権と引用について、琉球大学のネットワークやプリンターなどの情報基盤の使い方、図書館の使い方、英語多読の案内を載せています。

**英語学習支援**

琉球大学には、英語学習アドバイザー、e-learningシステムによる英語学習、外国語ユニット専任教員と一緒に昼食をとりながら英会話を楽しむイベント（イングリッシュランチ）など、様々な英語学習支援があります。
http://www.ged.u-ryukyu.ac.jp/flu/learn

**キャリア教育センター**　https://career.lab.u-ryukyu.ac.jp/

キャリア教育センターは、就活アドバイザーによる進路・就職相談、職業興味検査の実施、各種ガイダンス・セミナー、学内説明会の開催、求人情報、就職に関する情報の提供などさまざまなサポートを行っています。

学生の皆さんが、充実した就職活動を通して、希望する進路目標を達成するために、キャリア教育センターを積極的に活用してください。

**学生のための履修手引き**

〒903－0213
沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学 学生部 教育支援課
教　務　係　　098－895－8849
共通教育係　　098－895－8854